

令和6年度

沖縄県特別支援教育研究会 研修会①および第1回評議員会

令和6年6月14日(金) 15:00-16:45

@Zoomミーティング



沖縄県
特別支援教育
研究会

司会：会長補佐 仲松 智（名護特別支援学校教頭）

〈時間の目安〉

〈ページ〉

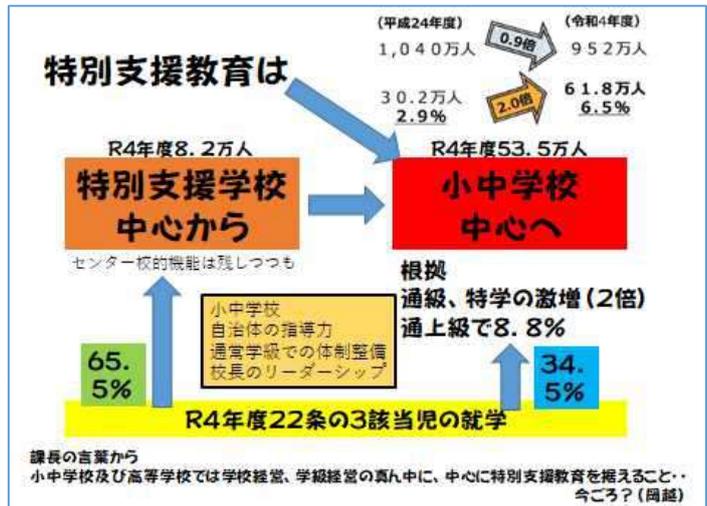
| | | |
|-------|--|-------|
| 14:45 | 開場 | |
| 15:00 | 開会の言葉 副会長 仲程 正 (嘉数中学校 校長) | |
| 15:05 | 会長あいさつ 会長 岡越 猛 (名護特別支援学校 校長) | 3 |
| 15:10 | 研修会① 「沖縄市における就学支援の取り組み(仮)」 沖縄市教育委員会 指導部 指導課 指導係長 八幡 昌士 | |
| | 《質疑応答》※時間によっては省き、アンケートをとって後日回答いただく | |
| 15:45 | 第1回評議員会 | |
| | 議題① 今年度の役員体制 | 4-5 |
| | 議題② 昨年度の事業・会計報告 | 6-9 |
| | 議題③ 沖特研運営について | 10-11 |
| | 《 質疑応答・決議 》 | |
| | 議題④ 今年度の事業計画 | 12 |
| | 議題⑤ 今年度の予算・会計 | 13-17 |
| | 《 質疑応答・決議 》 | |
| | 議題⑥ 今年度の研究大会 | 18-35 |
| | 《 質疑応答・決議 》 | |
| | 議題⑦ 事務局輪番 | 36 |
| | 議題⑧ 九特連・全特連について | 37-44 |
| | 《 質疑応答・決議 》 | |
| | 連絡事項 全特連功労者の推薦について | 45 |
| | 連絡事項 研究大会に向けたスケジュール | 46 |
| 16:40 | 閉会の言葉 副会長 粟國 静夫 (美咲特別支援学校 校長) | |
| 16:45 | 閉場・アンケート回答 | 48 |

令和5年度は、本校において7月定期総会（特別支援教育調査官講話）及び12月研究大会（山形大学教職大学院教授講話）を参集（200名超参加）により実施することで、アフターコロナにおける特別支援教育に係る人材育成や職員同士のつながりが必要なこと、市町村の特別支援学級と特別支援学校の実践研究の報告等による相互のスキルアップや連携することの重要性について改めて痛感したところです。

沖縄県特別支援教育研究会が今後も持続的・継続的な研究会となることをめざし、各評議員会や総会、研究大会において市町村の特学担当者や各支部長等から建設的な意見が数多く寄せられたことに感謝申し上げます。一方、特学担当者の置かれる状況の厳しさ等から、本研究会に対する不満も少なからずあり（分担金、旅費、出張命令、提案者捻出、支部体制構築等々）、課題の大きさと研究会のあり方（評議員会、総会、研究大会）等の改革が必要との認識は関係者共通のところだと考えます。

「全特連ビジョン（別紙参照）」を2022年に策定、6つのビジョンが示され、6番目のビジョンとして「特別支援教育の教育課程に関する実践研究の一層の充実を目指す」（①「学びの連続性」の推進に関する実践研究、②「知的障害教育の強化」に関する実践研究、③「自立活動」に関する実践研究、他）があり、沖縄県特別支援教育研究会としても7分科会（R4年再編）による事例発表等を通して、特別支援教育の推進・発展に寄与していることは言うまでもありません。

さて、5月17日（金）に全日本特別支援教育研究連盟理事会があり、文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長（生方氏）の行政説明では、全国的な特別支援学級・学校の児童生徒の増加、通常学級に在籍する何らかの支援の必要な児童生徒（8.8%）増加を受け、これからの特別支援教育は特別支援学校中心から小中学校が中心となること。小中学校長の強いリーダーシップが必要、小中校内支援委員会の充実（精査）、通常学級における合理的配慮、特別支援学級教員の目的外使用や入り込み指導等々について強く言及がありました。



なお、7月に招聘予定の文部科学省特別支援教育課特別支援教育調査官（加藤典子氏）から、沖縄県の特別支援学級の在籍者数・学級数が他地域に比し増加率が高いことを注視・懸念するとのこと。

令和6年度も、継続して会員各位及び各学校の皆様とともに、持続可能な本研究会・運営を目指して積極的な協力・参加をお願いします。今年度の新たな取り組みについては、事務局から提案があります。よりよい研究会となるよう活発な議論に期待します。

なお、本日の研修会には、前年度に引き続き沖縄市教育委員会指導部指導課 指導係長（八幡さま）をお迎えし、沖縄市就学に係る見直しの取組（行政説明、研修）、その成果、についてご報告いただきます。

別紙に、特別支援学級の児童生徒数及び学級数の推移、文部科学省通知、県教育委員会の通知等を添付しております参照下さい。

令和6年6月14日
 沖縄県特別支援教育研究会
 会長 岡越 猛
 県立名護特別支援学校 校長



議題① 今年度の役員体制(案)

令和6年度 沖縄県特別支援教育研究会 役員名簿 ※敬称略

作成日:令和6年5月21日

| 役職名 | 氏名 | 学校名 | 職名 | 電話 | FAX |
|----------|--------|------------|----|--------------|--------------|
| 会長 | 岡越 猛 | 名護特別支援学校 | 校長 | 0980-52-0505 | 0980-54-1486 |
| 副会長 | 仲程 正 | 宜野湾市立嘉数中学校 | 校長 | 098-898-2642 | 098-898-2650 |
| | 内間秀樹 | 美咲特別支援学校 | 校長 | 098-938-1037 | 098-938-7700 |
| 会長補佐 | 仲松 智 | 名護特別支援学校 | 教頭 | 0980-52-0505 | 0980-54-1486 |
| 事務局長 | 諸見里 知恵 | | 教諭 | | |
| 会計 | 屋比久 妙子 | | 教諭 | | |
| ホームページ担当 | 東江 紀幸 | | 教諭 | | |
| 庶務・書記 | 伊良波 愛理 | | 教諭 | | |
| | 白石 桃菜 | 教諭 | | | |
| 監事 | 玉城工 | 美咲特別支援学校 | 教頭 | 098-938-1037 | 098-938-7700 |
| | 島袋 美加 | 大平特別支援学校 | 教頭 | 098-877-4941 | 098-876-4148 |

- ・会長は、事務局校の校長が担当する
- ・副会長は、小・中学校特別支援学級・通級指導教室設置校校長会会長および次期事務局校校長が担当する
- ・監事は、前任および後任の事務局校教頭が担当する
- ・会長・副会長・事務局長は、九州地区特別支援教育研究連盟の支部長および評議員を兼任する

【小・中学校 知的障害特別支援学級設置校】

| 地区名 | 区分 | 役職名 | 氏名 | 学校名 | 職名 | 電話 | FAX |
|-------|----|------|--------|---------|----|--------------|--------------|
| 国頭 | 小 | 支部長 | 平良 智 | 大宜味小学校 | 校長 | 0980-44-1306 | 0980-44-1010 |
| | 中 | 副支部長 | 具志堅 勝司 | 国頭中学校 | 校長 | 0980-41-2205 | 0980-41-3071 |
| | 小 | 副支部長 | 町田 祐治 | 辺土名小学校 | 校長 | 0980-41-2110 | 0980-41-2761 |
| | 小 | 評議員 | 平田 夏記 | 大宜味小学校 | 教諭 | 0980-44-1306 | 0980-44-1010 |
| | 中 | 評議員 | 仲地 杏実 | 国頭中学校 | 教諭 | 0980-41-2205 | 0980-41-3071 |
| 中頭 | 中 | 支部長 | 平良 真也 | 西原中学校 | 校長 | 098-945-5202 | 098-946-4778 |
| | 小 | 副支部長 | 天願 直光 | はごろも小学校 | 校長 | 098-942-2040 | 098-898-8040 |
| | 中 | 評議員 | 島袋 有人 | 西原中学校 | 教諭 | 098-942-5202 | 098-946-4778 |
| | 小 | 評議員 | 中桐 美波 | はごろも小学校 | 教諭 | 098-942-2040 | 298-898-8040 |
| 那覇・浦添 | 中 | 支部長 | 望月 雄紀 | 寄宮中学校 | 校長 | 098-917-3408 | 098-917-3428 |
| | 小 | 副支部長 | 儀間 実子 | 開南小学校 | 校長 | 098-917-3320 | 098-917-3360 |
| | 小 | 副支部長 | 奥平 美智子 | 浦添小学校 | 教諭 | 098-877-2064 | 098-870-4755 |
| | 中 | 評議員 | 大城 有妃子 | 安岡中学校 | 教諭 | 098-917-3401 | 098-917-3421 |
| | 小 | 評議員 | 上原 秀樹 | 識名小学校 | 教諭 | 098-917-3310 | 098-917-3350 |
| | 小 | 評議員 | 當山 真人 | 浦添小学校 | 教諭 | 098-877-2064 | 098-870-4755 |
| 島尻 | 中 | 支部長 | 足立 克枝 | 大里中学校 | 校長 | 098-945-2442 | 098-945-1635 |
| | 小 | 副支部長 | 大城 直也 | 白川小学校 | 校長 | 098-998-7548 | 098-998-7513 |
| | 小 | 評議員 | 城田 葉子 | 南風原小学校 | 教諭 | 098-889-2088 | 098-889-2236 |
| | 小 | 評議員 | 外間 愛菜 | 南風原小学校 | 教諭 | 098-889-2088 | 098-889-2236 |
| | 中 | 評議員 | 山口 珠里 | 大里中学校 | 教諭 | 098-945-2442 | 098-945-1635 |
| 宮古 | 小 | 支部長 | 亀川 はるみ | 北小学校 | 校長 | 0980-72-3025 | 0980-72-1002 |
| | 小 | 副支部長 | 上田 達大 | 西城小学校 | 校長 | 0980-77-4102 | 0980-77-4114 |
| | 小 | 評議員 | 佐和田 典子 | 北小学校 | 教諭 | 0980-72-3025 | 0980-72-1002 |
| | 小 | 評議員 | 川満 智江美 | 南小学校 | 教諭 | 0980-72-0223 | 0980-72-6007 |
| 八重山 | 小 | 支部長 | 石垣 史昭 | 石垣中学校 | 校長 | 0980-82-3070 | 0980-82-4653 |
| | 小 | 副支部長 | 大浜 譲 | 登野城小学校 | 校長 | 0980-83-2307 | 0980-83-7055 |
| | 小 | 評議員 | 石垣 絵美 | 石垣中学校 | 教諭 | 0980-82-3070 | 0980-82-4653 |

・宮古・八重山地区の支部長および副支部長は、評議員と兼任することができる

【知的障害特別支援学校】

| 学校名 | 役職名 | 氏名 | 職名 | 電話 | FAX |
|------------|-----|--------|----|--------------|--------------|
| 名護特別支援学校 | 支部長 | 岡越 猛 | 校長 | 0980-52-0505 | 0980-54-1486 |
| | 評議員 | 仲松 智 | 教頭 | | |
| | 評議員 | 上原 久美子 | 教頭 | | |
| | 評議員 | 伊良波 愛理 | 教諭 | | |
| 美咲特別支援学校 | 支部長 | 内間 秀樹 | 校長 | 098-938-1037 | 098-938-7700 |
| | 評議員 | 玉城 工 | 教頭 | | |
| | 評議員 | 山田 義一 | 教諭 | | |
| | 評議員 | 宮城雅貴 | 教諭 | | |
| はなさき支援学校 | 支部長 | 井出 一宏 | 校長 | 098-989-0192 | 098-989-0193 |
| | 評議員 | 下里佳代子 | 教頭 | | |
| | 評議員 | 立津 佑美 | 教諭 | | |
| 沖縄高等特別支援学校 | 支部長 | 城間 政次 | 校長 | 098-973-1661 | 098-974-1680 |
| | 評議員 | 友寄 英一郎 | 教頭 | | |
| | 評議員 | 登川圭一 | 教諭 | | |
| 大平特別支援学校 | 支部長 | 古我知 博樹 | 校長 | 098-877-4941 | 098-876-4148 |
| | 評議員 | 島袋 美加 | 教頭 | | |
| | 評議員 | 松本 則子 | 教諭 | | |
| | 評議員 | 伊波 国治 | 教諭 | | |
| 那覇みらい支援学校 | 支部長 | 栗國 静夫 | 校長 | 098-855-7831 | 098-855-7832 |
| | 評議員 | 今村 清輝 | 教頭 | | |
| | 評議員 | 赤嶺 太亮 | 教諭 | | |
| 島尻特別支援学校 | 支部長 | 中山 充雄 | 校長 | 098-998-8240 | 098-998-7655 |
| | 評議員 | 豊見本公彦 | 教頭 | | |
| | 評議員 | 大城 夏菜 | 教諭 | | |
| 西崎特別支援学校 | 支部長 | 呉屋光広 | 校長 | 098-994-6855 | 098-994-6856 |
| | 評議員 | 野原 小侑合 | 教頭 | | |
| | 評議員 | 比嘉 香苗 | 教諭 | | |
| | 評議員 | 下地 珠美 | 教諭 | | |
| 宮古特別支援学校 | 支部長 | 濱元 伸 | 校長 | 0980-72-5117 | 0980-72-5320 |
| | 評議員 | 前川 考治 | 教頭 | | |
| | 評議員 | 坂本 紀子 | 教諭 | | |
| 八重山特別支援学校 | 支部長 | 稻田 洋一 | 校長 | 0980-86-7345 | 0980-86-8113 |
| | 評議員 | 與那城 哲 | 教頭 | | |
| | 評議員 | 東盛 揚 | 教諭 | | |
| やえせ高等支援学校 | 支部長 | 與那覇さゆり | 校長 | 098-998-2401 | 098-998-4697 |
| | 評議員 | 島袋 聡 | 教頭 | | |
| | 評議員 | 金城 智也 | 教諭 | | |
| 陽明高等支援学校 | 支部長 | 宮里 哲 | 校長 | 098-879-3062 | 098-879-9520 |
| | 評議員 | 朝倉康介 | 教頭 | | |
| | 評議員 | 山城 奈月 | 教諭 | | |
| 中部農林高等支援学校 | 支部長 | 新垣 博之 | 校長 | 098-973-3578 | 098-973-3357 |
| | 評議員 | 金武 圭代 | 教頭 | | |
| | 評議員 | 真喜屋頼子 | 教諭 | | |
| 南風原高等支援学校 | 支部長 | 嘉数 修 | 校長 | 098-889-4618 | 098-889-3667 |
| | 評議員 | 山里剛 | 教頭 | | |
| | 評議員 | 金城 義樹 | 教諭 | | |

【担当主事】

| 所属 | 氏名 | 職名 | 電話 | FAX |
|---------------------------|--------|------|--------------|--------------|
| 沖縄県教育庁 県立学校教育課 特別支援教育室 | 長谷川 智子 | 指導主事 | 098-866-2715 | 098-866-2718 |

・事務局校には、評議員3名を置く

・事務局交代の前年度(事務局2年目)は後任の事務局校に、引き継ぎのため評議員を3名置く

議題②-1 昨年度の事業報告 (敬称略)

| 日時 | 場所 | 事業内容(敬称略) | | |
|------------------------------------|--|--|----|--|
| 令和5年 6/22(木) 15:15~ 16:45 | 名護特別 支援学校 オンライン | 第1回評議員会・研修会① | | |
| | | <table border="1"> <tr> <td>議題</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●今年度の役員体制 ●昨年度の事業・会計報告 ●今年度の事業・予算案 ●研究大会について(一次案内) ●諸連絡(輪番確認、全特連について等) </td> </tr> <tr> <td>研修</td> <td> 第1回「 沖縄市における就学支援の取組と課題 」 講師 八幡 昌士(沖縄市教育委員会 指導部 指導課 指導係長) </td> </tr> </table> | 議題 | <ul style="list-style-type: none"> ●今年度の役員体制 ●昨年度の事業・会計報告 ●今年度の事業・予算案 ●研究大会について(一次案内) ●諸連絡(輪番確認、全特連について等) |
| 議題 | <ul style="list-style-type: none"> ●今年度の役員体制 ●昨年度の事業・会計報告 ●今年度の事業・予算案 ●研究大会について(一次案内) ●諸連絡(輪番確認、全特連について等) | | | |
| 研修 | 第1回「 沖縄市における就学支援の取組と課題 」 講師 八幡 昌士(沖縄市教育委員会 指導部 指導課 指導係長) | | | |
| 7/28(金) 13:15~ 16:30 | 名護特別 支援学校 オンライン | 令和5年度総会・記念講演(研修会②) | | |
| | | <table border="1"> <tr> <td>議題</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●今年度の役員体制の承認 ●昨年度の会計報告 ●今年度の事業・予算案の承認 ●研究大会について </td> </tr> <tr> <td>記念 講演</td> <td> 第2回「 これからの特別支援教育の動向 」 講師 加藤 宏昭 (文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官) </td> </tr> </table> | 議題 | <ul style="list-style-type: none"> ●今年度の役員体制の承認 ●昨年度の会計報告 ●今年度の事業・予算案の承認 ●研究大会について |
| 議題 | <ul style="list-style-type: none"> ●今年度の役員体制の承認 ●昨年度の会計報告 ●今年度の事業・予算案の承認 ●研究大会について | | | |
| 記念 講演 | 第2回「 これからの特別支援教育の動向 」 講師 加藤 宏昭 (文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官) | | | |
| 10/13(金) 15:15~ 16:45 | オンライン | 第2回評議員会・研修会③ | | |
| | | <table border="1"> <tr> <td>議題</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●研究大会の運営について ●会計進捗報告 ●日程確認等 </td> </tr> <tr> <td>研修</td> <td> 第3回「 学校現場で活躍する ASD 当事者から校長先生方へのメッセージ① 」 講師 綿貫 愛子 (NPO 法人東京都自閉症協会 役員) </td> </tr> </table> | 議題 | <ul style="list-style-type: none"> ●研究大会の運営について ●会計進捗報告 ●日程確認等 |
| 議題 | <ul style="list-style-type: none"> ●研究大会の運営について ●会計進捗報告 ●日程確認等 | | | |
| 研修 | 第3回「 学校現場で活躍する ASD 当事者から校長先生方へのメッセージ① 」 講師 綿貫 愛子 (NPO 法人東京都自閉症協会 役員) | | | |
| 10/19(木) 10/20(金) | 徳島県 | 第62回 全日本特別支援教育研究連盟全国大会《徳島大会》 【大会主題】 共生社会の中で、夢や志をもち、主体的に活躍する子どもたち ~多様な個性が輝く特別支援教育を目指して~ ・記念講演「 共生社会の形成に向けたこれからの地域協働活動とキャリア発達支援 ~ヒト・コト・モノのつながりと対話を再考する~」 講師 菊池 一文 氏 (弘前大学大学院 教授) ・沖縄からの提案者等 なし | | |
| 11/10(金) 15:00~ 16:45 | オンライン | 沖特研 研究大会分科会関係者会・研修会④ | | |
| | | <table border="1"> <tr> <td>研修</td> <td> 第4回「 学校現場で活躍する ASD 当事者から校長先生方へのメッセージ② 」 講師 綿貫 愛子 (NPO 法人東京都自閉症協会 役員) </td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●事務局からの説明 ●分科会ごとの打ち合わせ </td> </tr> </table> | 研修 | 第4回「 学校現場で活躍する ASD 当事者から校長先生方へのメッセージ② 」 講師 綿貫 愛子 (NPO 法人東京都自閉症協会 役員) |
| 研修 | 第4回「 学校現場で活躍する ASD 当事者から校長先生方へのメッセージ② 」 講師 綿貫 愛子 (NPO 法人東京都自閉症協会 役員) | | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●事務局からの説明 ●分科会ごとの打ち合わせ | | | |
| 12/1(金) 13:00~ 17:00 | オンライン ※提案者は 現地参加 | 令和5年度 九州地区特別支援教育研究連盟 第57回研究大会《福岡大会》 【研究主題】 多様な子供たちの可能性を広げる特別支援教育 ~教育的ニーズに応じた教育実践を通して~ ・記念講演「 多様な学びの場における特別支援教育の推進 」 ・沖縄からの提案者等:照喜名雅乃(大平特支)、志良堂弥(はごろも小学校) | | |

| | | |
|----------------------------|-------------------------------------|---|
| 12/15(金) 9:15~ 16:30 | 名護特別 支援学校 ※一部オンデ マンド配信 | 第51回 沖縄県特別支援教育研究会 研究大会 【大会主題】沖縄県における持続可能な特別支援教育の質の向上を目指して ～知的障害児の各教科等を通じた多様な学びの保障～ ・記念講演「特別支援における育成すべき資質・能力を育む教育 ～知的障害児の各教科等を中心とした教育のすすめ～ おまけ 8段階による自閉症児の障害特性の見極め」 講師 三浦 光哉(山形大学教職大学院 教授) ・名護特別支援学校 公開授業 ・分科会(計7分科会) |
| 令和6年 2/2(金) 15:15~ | オンライン | 臨時支部長会 協議 内容 ●沖特研について ●今後の研究会運営について |
| 2/22(木) 15:00~ 16:45 | オンライン | 第3回評議員会・研修会⑤ 議題 ●研究大会の報告 ●今年度の事業・会計進捗報告 ●次年度の事業・予算案 ●次年度の研究会運営について ●諸連絡(研究集録の配布、役員の氏名報告) 研修 第5回「学校現場で活躍するASD当事者から校長先生方へのメッセージ③」 講師 綿貫 愛子(NPO 法人東京都自閉症協会 役員) |
| 3月頃 | 名護特別 支援学校 | 会計監査 監事 玉城 工(美咲特支 教頭)・平良 功(大平特支 教頭) 事務局引き継ぎ(校内) |

【昨年度の成果と課題】

(1)今年度の成果

○各事業の実施について

・令和3・4年度においては新型コロナウイルス感染予防の観点から全事業において完全オンラインでの開催となったが、今年度は新型コロナウイルス5類移行を踏まえ、評議員会等はオンラインと参集型のハイブリッド式で開催、研究大会は4年ぶりとなる参集型での開催をすることができた。

・研究大会では、事務局校の授業参観・学校見学の実施、記念講演や各分科会を通して参加者がお互いの顔を見合わせて協議することができる機会となった。

○研究会の運営について

・組織の再編:那覇地区小学校・浦添地区小学校・那覇浦添地区中学校特別支援教育研究会の3支部に分かれていた組織を合併し、令和6年度より「那覇・浦添支部」として再編することを決議(第2回評議員会にて可決)。

・研究会運営について研究会役員等から建設的なご意見が寄せられ、研修会の在り方や予算の見直し等に取り組んでいるところである。

(2)今後の課題

・コロナ以前、コロナ禍で取り組んできた本研究会運営を踏まえて、持続可能な研究会運営にするため、研究会の体制整備(組織構築)、運営費(予算案等)等の見直しは引き続き喫緊の課題と言える。

・各支部の事情等により、評議員等の選出や研究大会に係る提案者や係等の選出が難しく、研究大会運営に関してさまざまな問題点が出てくる。

・研究会運営にあたって、各学校間における相互理解の啓発、行政や関係諸機関と連携して特別支援教育の発展に寄与していきたい。

・今年度、参集型での大会を実施してみて、参加者にとっては授業参観の実施や記念講演、各分科会への参加を通して協議できる機会となった。一方で研修会参加に係る旅費等の観点からオンライン開催やハイブリッド開催を望む声もある。運営に係る事務局校の負担等の兼ね合いも見ながら今後も実施方法については検討が必要である。

議題 2-2 昨年度の会計報告

令和5年度 沖縄県特別支援教育研究会 最終報告書

I 一般会計

| | |
|------|-------------|
| 収入の部 | 1,400,653 円 |
| 支出の部 | 934,556 円 |
| 差引残高 | 466,097 円 |

1. 収入の部

| 費目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 摘要・備考 |
|--------------|-----------|-----------|----------|--|
| 1 沖特研会費(分担金) | 316,800 | 634,650 | 9,600 | 1,070学級(小中597、特支473) 【R4_1056学級 R4年度より14学級増】 ※全市町村・学校から徴収済(10/27現在 100%) |
| 2 全特連分担金 | 211,200 | | | |
| 3 九特連分担金 | 97,050 | | | |
| 4 大会資料費(参加費) | 197,500 | 132,000 | (65,500) | 参加者一人あたり500円(参加者264名 来賓等18名) |
| 5 寄付金 | 0 | 0 | 0 | |
| 6 繰越金 | 634,000 | 634,000 | 0 | |
| 7 その他 | 0 | 3 | 3 | 利息 |
| 合計 | 1,456,550 | 1,400,653 | (55,897) | |

※ 分担金納入状況については「【資料】令和5年度 沖特研 分担金納入状況」を参照

2. 支出の部

| 費目 | 予算額 | 決算額 | 残金 | 摘要・備考 |
|----------|-----------|---------|-----------|--|
| 1 印刷費 | 100,000 | 56,199 | 43,801 | 大会集録印刷(インク代を含む) |
| 2 報償費 | 60,000 | 7,264 | 52,736 | 講師謝礼金等(記念講演・評議員会) |
| 3 大会運営費 | 140,000 | 26,527 | 113,473 | 白紙、役員弁当、盛り花、諸経費 |
| 4 通信費 | 60,000 | 74,364 | △ 14,364 | 切手、郵送料、zoom契約料等 |
| 5 会議費 | 5,000 | 665 | 4,335 | 湯茶、菓子代 |
| 6 旅費 | 110,000 | 367,784 | △ 257,784 | 会計監査、講師等旅費、全特連大会視察旅費、※1 九特連派遣費、沖特研研究大会派遣旅費(石垣) |
| 7 事務費 | 40,000 | 31,536 | 8,464 | 事務用品代 |
| 8 全特連分担金 | 259,000 | 259,417 | △ 417 | 次年度の徴収額を250/学級とする。 ※振込手数料417円を含む |
| 9 九特連負担金 | 98,700 | 98,800 | △ 100 | ※振込手数料100円を含む |
| 10 予備費 | 582,850 | 11,000 | 571,850 | ※全特連大会参加費・集録費 |
| 11 積立費 | 1,000 | 1,000 | 0 | 次回九特連沖縄大会積立金 |
| 合計 | 1,456,550 | 934,556 | 521,994 | |

※1 年度当初は発表者はリモートでの参加であったが、年度途中に対面での参加に変更になったため

II 九特連大会積立金

| | | |
|-----------------------|-----------|---------------|
| 令和5年度九特連研究大会(沖縄大会)積立金 | 1,690,896 | ※令和5年度末までの合計額 |
|-----------------------|-----------|---------------|

※ R5年度末の積立金は1,690,896円です。

※ 7年後の九特連沖縄大会への積み立て金となります。

上記の通り、報告いたします。

令和6年3月26日 会計担当 田名 温

会計監査報告

令和5年度沖縄県特別支援教育研究会の下記の書類について会計監査を実施しました。

その結果、すべての書類が正確に完備され、収入が適正処理されていることを確認しました。

ここに、会計事務が適正なることを承認し、監査の報告といたします。

記

1. 令和5年度沖縄県特別支援教育研究会決算書
2. 令和5年度沖縄県特別支援教育研究会金銭出納簿
3. 令和5年度証憑書綴り
4. 琉球銀行 普通預金通帳：一般会計
5. ゆうちょ銀行 総合口座通帳：九特連大会積立金

令和 6 年 3 月 26 日

監査員

平良 功



監査員

玉城 工



沖縄県特別支援教育研究会とは

1. 会の目的

沖縄県特別支援教育研究会(沖特研)は、特別な教育的支援を必要とする知的障害のある幼児・児童・生徒の教育の発展と、実践研究の推進に寄与することを目的としています。

2. 沿革

沖特研は、昭和40年6月に「沖縄県特殊教育研究会」として設立されました。平成14年度に会の名称を「沖縄県特別支援教育研究会」に変更し、令和6年現在では沖縄本島と宮古・八重山地方などの離島地域を含め、知的障害特別支援学級を設置する小・中学校6支部(地区の研究会を含む)と特別支援学校(高等支援学校を含む)14支部で組織されています。

3. 会員

沖特研の会員は、沖縄県内の知的障害学級を担当するすべての教員です。また上部組織として、九州地区特別支援教育研究連盟・全日本特別支援教育研究連盟があります。各団体のホームページにて各会規約をご参照下さい。

※ 全特連規約 http://zentokurenhp.world.cocacn.jp/gaiyou/index_kiyaku.html

※ 九特連規約 http://www.okitokuken-as.open.ed.jp/kiyaku_kyutokuren.pdf

※ 沖特研規約 <http://www.okitokuken-as.open.ed.jp/post-5.html>

4. 事務局および役員

沖特研の運営は、知的障害特別支援学校が2年ごとの輪番で事務局を担当しています。また役員として、各支部より支部長・副支部長・評議員が選出されます。

| | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------------|------------------|--|------------------|------------------|------------------|
| 事務局 | 大平特支 | | 名護特支 | | 美咲特支 |
| 沖特研 研究大会 | 第49回大会 | 第50回沖特研大会 第56回九特連 〈沖縄大会〉 同時開催 | 第51回大会 | 第52回大会 | 第53回大会 |
| 九特連 研究大会 | 第55回大会 〈熊本大会〉 | | 第57回大会 〈福岡大会〉 | 第58回大会 〈佐賀大会〉 | 第59回大会 〈長崎大会〉 |

5. 今年度の組織 ※敬称略

会長：岡越 猛(名護特別支援学校 校長)

副会長：仲程 正(宜野湾市立嘉数中学校 校長)

副会長：内間 秀樹(美咲特別支援学校 校長)

会長補佐：仲松 智(名護特別支援学校 教頭)

監事：玉城 工(美咲特別支援学校 教頭)

監事：島袋 美加(大平特別支援学校 教頭)

6. 今年度の事業計画と研究大会テーマ

| 日にち | 内容 |
|-----------|---|
| 6月14日(金) | 第1回 評議員会・研修会① |
| 7月26日(金) | 令和6年度 総会・記念講演(研修会②) 「児童生徒一人一人の学びの充実に向けて～特別支援教育の目指す方向性～」 講師 加藤 典子 氏(文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官) |
| 10月11日(金) | 第2回 評議員会・研修会③ |
| 11月8日(金) | 研究大会分科会関係者会・研修会④ |
| 12月13日(金) | 令和6年度 沖縄県特別支援教育研究会 第52回研究大会 【大会主題】 沖縄県における持続可能な特別支援教育の質の向上を目指して ～知的障害児の各教科等を通じた多様な学びの保障～ ・記念講演 綿貫 愛子氏(NPO法人東京都自閉症協会 役員) ・分科会(計7分科会予定) |
| 2月21日(金) | 第3回 評議員会・研修会⑤ |

《問い合わせ》



沖縄県
特別支援教育
研究会

令和6年度 事務局
諸見里 知恵・屋比久 妙子
東江 紀幸・伊良波 愛理
白石 桃菜

県立名護特別支援学校 沖縄県名護市字宇茂佐760
TEL: 0980-52-0505 FAX: 0980-54-1486
MAIL: okitokuken@as.open.ed.jp
HP: <http://www.okitokuken-as.open.ed.jp> →



議題③-2 今年度の沖特研運営について

本研究会が発足して、50余年。本研究会は上位団体に全日本・九州地区特別支援教育連盟があり、文科省や各県教育委員会の外郭団体的な様相もあり、特別支援教育の持続・継続・推進には必要不可欠といえます。今後も本県の特別支援教育に寄与するため、ウィズ・コロナからアフターコロナへの時代の転換、教職員の働き方改革など昨今の社会情勢も踏まえて、その活動の在り方についても見直しが必要になっています。コロナ以前、コロナ禍で本研究会運営の中で取り組んできたことを活かしつつ、持続可能な本研究会・運営を目指して、会員の皆さまとともに議論が深められればと考えております。今後も研究会としての活動を継続・発展していけるように、これまでの事務局の取り組みを引き継ぎながら、よりよい研究会となるよう尽力いたします。

持続可能な 沖特研運営に向けて

会運営の 協力体制の構築

- ・県立学校教育課
- ・各教育事務所
- ・各教育委員会 への
協力依頼

オンラインの活用

- ・Zoomの活用
- ・研修会、
研究大会などの
オンデマンド配信

情報発信

- ・研修会、
研究大会等の告知
- ・ホームページの活用

沖情研との タイアップ

- ・文部科学省特別支援教育調査官及びNPO法人東京都自閉症協会 綿貫愛子先生の招聘

研究大会 分科会の見直し

- ・参加者にとって実りある分科会となるよう、分科会運営の在り方を模索する

引き継ぎ

- ・各種様式や
引き継ぎデータの整理

議題④ 今年度の事業計画(R6年5月現在) (敬称略)

| 日時 | 場所 | 事業内容(敬称略) | | |
|------------------------------------|---|---|----|---|
| 令和6年 6/14(金) 15:00- 16:45 | 名護特別 支援学校 オンライン | 第1回評議員会・研修会① | | |
| | | <table border="1"> <tr> <td>議題</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●今年度の役員体制 ●昨年度の事業・会計報告 ●今年度の事業・予算案 ●研究大会について(一次案内) ●諸連絡(輪番確認、全特連について等) </td> </tr> <tr> <td>研修</td> <td>第1回「沖縄市における就学支援の取り組み(仮)」 講師 八幡 昌士 氏 (沖縄市教育委員会 指導部 指導課 指導係長)</td> </tr> </table> | 議題 | <ul style="list-style-type: none"> ●今年度の役員体制 ●昨年度の事業・会計報告 ●今年度の事業・予算案 ●研究大会について(一次案内) ●諸連絡(輪番確認、全特連について等) |
| 議題 | <ul style="list-style-type: none"> ●今年度の役員体制 ●昨年度の事業・会計報告 ●今年度の事業・予算案 ●研究大会について(一次案内) ●諸連絡(輪番確認、全特連について等) | | | |
| 研修 | 第1回「沖縄市における就学支援の取り組み(仮)」 講師 八幡 昌士 氏 (沖縄市教育委員会 指導部 指導課 指導係長) | | | |
| 7/26(金) 12:45- 16:30 | 那覇みらい 支援学校 オンライン ※冲情研と タイアップ | 令和6年度総会・記念講演(研修会②) | | |
| | | <table border="1"> <tr> <td>議題</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●今年度の役員体制の承認 ●昨年度の会計報告 ●今年度の事業・予算案の承認 ●研究大会について </td> </tr> <tr> <td>記念 講演</td> <td>第2回「児童生徒一人一人の学びの充実に向けて ～特別支援教育の目指す方向性～」 講師 加藤 典子 氏 (文部科学省 初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官)</td> </tr> </table> | 議題 | <ul style="list-style-type: none"> ●今年度の役員体制の承認 ●昨年度の会計報告 ●今年度の事業・予算案の承認 ●研究大会について |
| 議題 | <ul style="list-style-type: none"> ●今年度の役員体制の承認 ●昨年度の会計報告 ●今年度の事業・予算案の承認 ●研究大会について | | | |
| 記念 講演 | 第2回「児童生徒一人一人の学びの充実に向けて ～特別支援教育の目指す方向性～」 講師 加藤 典子 氏 (文部科学省 初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官) | | | |
| 8/2(金) | 佐賀県 | 令和6年度 九州地区特別支援教育研究連盟 第58回研究大会《佐賀大会》 【研究主題】共生社会の中で自分らしく主体的に活動する子どもの育成を目指して ・記念講演「これからの特別支援教育を担う教職員に求められる資質や専門性とは何か」 講師 田中 良広 氏 (帝京平成大学 人文社会学部 児童学科 小学校・特別支援コース 教授) ・沖縄からの提案者等:大宜味中学校、美咲特支、司会(名護特支)、指導助言者 | | |
| 10/11(金) 15:00- 16:45 | 名護特別 支援学校 オンライン | 第2回評議員会・研修会③ | | |
| | | <table border="1"> <tr> <td>議題</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●研究大会の運営について ●会計進捗報告 ●日程確認等 </td> </tr> <tr> <td>研修</td> <td>第3回「未定」 講師 城間 園子 氏 (琉球大学教職大学院 准教授)</td> </tr> </table> | 議題 | <ul style="list-style-type: none"> ●研究大会の運営について ●会計進捗報告 ●日程確認等 |
| 議題 | <ul style="list-style-type: none"> ●研究大会の運営について ●会計進捗報告 ●日程確認等 | | | |
| 研修 | 第3回「未定」 講師 城間 園子 氏 (琉球大学教職大学院 准教授) | | | |
| 11/8(金) | 名護特別 支援学校 オンライン | 冲特研 研究大会分科会関係者会・研修会④ | | |
| | | <table border="1"> <tr> <td>研修</td> <td>第4回「未定」 講師 城間 園子 氏 (琉球大学教職大学院 准教授)</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●事務局からの説明 ●分科会ごとの打ち合わせ </td> </tr> </table> | 研修 | 第4回「未定」 講師 城間 園子 氏 (琉球大学教職大学院 准教授) |
| 研修 | 第4回「未定」 講師 城間 園子 氏 (琉球大学教職大学院 准教授) | | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●事務局からの説明 ●分科会ごとの打ち合わせ | | | |
| 11/21(木) 11/22(金) | 福井県 | 第63回 全日本特別支援教育研究連盟全国大会《福井大会》 【大会主題】変化する社会の中で 自分らしさを生かし 生き生きと輝く子どもたち ～教育的ニーズに基づいた 一人一人の育ちを求めて～ ・記念講演「一人一人が自分を表現できる未来へ」 講師 前田 謙利 氏 (書家/プレゼンテーションクリエイター) ・沖縄からの提案者等 なし | | |
| 12/13(金) 9:30- 16:45 | 名護特別 支援学校 ※一部オンデ マンド配信予定 | 第51回 沖縄県特別支援教育研究会 研究大会 【大会主題】沖縄県における持続可能な特別支援教育の質の向上を目指して ～知的障害児の各教科等を通じた多様な学びの保障～ ・記念講演「未定」 講師 綿貫 愛子 氏 (NPO 法人東京都自閉症協会 役員) ・名護特別支援学校 公開授業 ・分科会(計7分科会予定) | | |
| 2/21(金) 15:00- 16:45 | 名護特別 支援学校 オンライン | 第3回評議員会・研修会⑤ | | |
| | | <table border="1"> <tr> <td>議題</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●研究大会の報告 ●今年度の事業・会計進捗報告 ●次年度の事業・予算案 ●次年度の研究大会について ●諸連絡(研究集録の配布、役員の氏名報告) </td> </tr> <tr> <td>研修</td> <td>第5回「未定」 講師 城間 園子 氏 (琉球大学教職大学院 准教授)</td> </tr> </table> | 議題 | <ul style="list-style-type: none"> ●研究大会の報告 ●今年度の事業・会計進捗報告 ●次年度の事業・予算案 ●次年度の研究大会について ●諸連絡(研究集録の配布、役員の氏名報告) |
| 議題 | <ul style="list-style-type: none"> ●研究大会の報告 ●今年度の事業・会計進捗報告 ●次年度の事業・予算案 ●次年度の研究大会について ●諸連絡(研究集録の配布、役員の氏名報告) | | | |
| 研修 | 第5回「未定」 講師 城間 園子 氏 (琉球大学教職大学院 准教授) | | | |
| 3月頃 | 名護特別 支援学校 | 会計監査 監事(美咲特支 教頭)・(大平特支 教頭) 事務局引き継ぎ(美咲特支) | | |

沖特研・九特連の会計に関する確認事項

【確認事項】

○ 分担金(会費)徴収に関する日程について(沖縄県内)

5月13日 分担金納入依頼公文発送(各市町村教育委員会、各学校宛)

※R3年度から5月に発送(R3年度から学級数の報告を自己申告に変更)

6月14日 第1回評議員会:納入状況確認①

7月中旬 分担金未納団体に再度請求(督促)

7月26日 総会:納入状況確認②

9月下旬 「次年度分担金予算計上依頼公文」発送 各市町村教育委員会、各学校宛

10月11日 第2回評議員会:納入状況確認③

○ 沖特研の旅費について

1. 令和3年度から本島内の出張については研究会からは旅費を支給しない。(沖情研が分離したことによる予算減のため。)

【参考】

○令和元年度までの沖特研旅費について

- ・本島内は1人500円を研究会から支給(遠隔地は1,000円)していた。
- ・離島は学校割り当て旅費から支給(公費支給)していた。
- ・評議員会1回開催するために約30,000~45,000円の支出が必要であった。
- ・年間(評議員会、総会、関係者会、研究大会)約250,000円の支出

○九特連の予算について

1. 令和4年度の九特連沖縄大会後の繰越金は約168万円(リモート開催のため、支出が少なかった)。
2. 令和4年度の第3回評議員会にて承認された通り、次回(7年後)の九特連沖縄大会に向けて年額1,000円を積み立てる。

【参考】

- ・H25の前々回大会後より毎年10万円(R2,3は20万円)を積み立ててきた。
- ・九特連では、各県の研究会から負担金を徴収しており、例年は約80万円の収入がある。また、全特連から約24万円(R3)の補助金がある。これらを事務局担当県が九特連の運営に充てている。

○沖特研大会参加費について

1. 原則対面での大会開催であり、大会運営に係る費用として昨年度同様、大会参加費を500円とする。
(令和5年度第3回評議員会にて次年度の予算案として提案を行い、承認されている。今年度も研究集録の冊数や積立金の見直し、旅費支給者の精選、等を継続的に行い、原則沖特研分担金と大会参加費で賄えるような運用を行い、不足分に関して繰越金を充てていく。)

【参考】

- ・一昨年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、リモートでの開催を行い、資料は各自でダウンロードする形で沖特研大会資料費(参加費)は取っていなかった。
- ・対面での大会参加費(~R1)は1,000円であった。沖特研分担金と大会参加費が主な収入源であり、例年の当番校は全職員参加(大会参加費負担)している。
- ・昨年度は167,906円の不足分を繰越金で充填している。不足分の主な用途は九特連派遣旅費等であり、今年度以降も県からの予算をしっかりと確保できる働きかけを行う。

令和6年度 沖縄県特別支援教育研究会 予算書(案)

(九特連負担金、全特連分担金を含む)

| | | | |
|------|-----------|---|-------------|
| 収入の部 | 1,268,247 | 円 | |
| 支出の部 | 1,268,247 | 円 | |
| | 0 | 円 | (残金は次年度に繰越) |

I 一般会計

1. 収入の部

| 科 目 | 予 算 額 | 摘 要 | 備 考 |
|--------------|------------------|--------------|---|
| 1 沖特研会費(分担金) | 311,700 | 300円×学級数(知的) | 1,039学級(小中592、特支447) |
| 2 全特連分担金 | 259,750 | 250円×学級数(知的) | R4年度途中に 300円→250円/学級 の変更あり |
| 3 九特連負担金 | 98,700 | 150円×学級数(知的) | 5学級以上の学校は一律750円 4学級以下593学級×150円 5学級以上13校×750円 |
| 4 大会資料費(参加費) | 132,000 | 参加者一人あたり500円 | 参加人数:264人(事務局校職員を含む) ※R5年度の大会実績で試算 |
| 5 寄 付 金 | 0 | | |
| 6 繰 越 金 | 466,097 | | |
| 合 計 | 1,268,247 | | |

※ 沖特研会費(分担金)・全特連分担金・九特連負担金について
 小・中特別支援学級は各市町村教育委員会より徴収(那覇市は各小中学校)
 特別支援学校は各学校より徴収

2. 支出の部

| 科 目 | 予 算 額 | 摘 要 | 備 考 |
|----------|------------------|--|---|
| 1 印刷費 | 80,000 | 大会要項、研究集録 | |
| 2 報償費 | 60,000 | 講師謝礼金 | |
| 3 大会運営費 | 50,000 | 白紙、役員弁当、諸経費 | 盛り花は予算の都合上、削除 |
| 4 通信費 | 65,000 | 切手、郵送料、zoom契約料等 | |
| 5 会議費 | 5,000 | 湯茶、菓子代 | |
| 6 旅費 | 200,000 | 会計監査、全特連大会旅費(会長)、 九特連大会旅費(司会)、講師等旅費 など | ※R3年度より原則として 県内旅費 については 支出していない ※全特連福井大会、九特連佐賀大会 |
| 7 事務費 | 35,000 | トナー、封筒、事務用品代 | |
| 8 全特連分担金 | 259,750 | 250円×学級数 | ※R4年度に規約改正300円→250円 |
| 9 九特連負担金 | 98,700 | 150円×学級数 ※5学級以上の学校は750円 | ※R6九特連負担金依頼より (R6/4/24付) |
| 10 予備費 | 413,797 | | |
| 11 積立費 | 1,000 | R6年度九特連沖縄大会積立金 | |
| 合 計 | 1,268,247 | | |

II 九特連大会積立金

| 次回九特連積立金(令和6年度) | 令和5年度までの積立金 | 令和6年度積立金 | 令和6年度時点での合計額 |
|-----------------|-------------|----------|--------------|
| | 1,690,903 | 1,000 | 1,691,903 |

※ 令和6年3月に積み立て利子7円あり。
 ※ 令和3年度より沖情研は会計が完全に別に分かれる。

沖特研会計に関する確認事項

○:必要 ×:不要 (事務局):沖特研事務局負担 (各所属):各所属の対応に準ずる(事務局より支給なし)

【沖特研 研究大会参加費等の取り扱いについて】

| No | | 宿泊費 | 旅費 | 謝金 | 参加費 | 弁当 | 備考 |
|----|------------------|-------------------|-------------------|--------------|------------|-------------------|---|
| 1 | 来賓 | × | × | × | × | ○ (事務局) | 大会後援団体の長 県教委教育長/特別支援教育課 総セ特別支援教育班長 名護市教育長/教育委員会 ほか |
| 2 | 沖特研 本部役員 | × | ○※事務局校以外 (事務局) | × | × | ○ (事務局) | 副会長および監事 |
| 3 | 沖特研 各支部役員 | × | ○ (各所属) | × | ○ (各所属) | ○※必要に応じて (各所属) | 各支部長・副支部長・評議員 |
| 4 | 講演講師 | ○ (事務局) | ○ (事務局) | ○ (事務局) | × | ○ (事務局) | NPO 法人東京都自閉症協会役員 綿貫 愛子 様 |
| 5 | 分科会助言者 | ○※ (各所属)※ | ○ (各所属)※ | ○※ (事務局)※ | × | ○ (事務局) | ※県教委、総教センター、校長は不要 |
| 6 | 分科会各係 (提案者含む) | ○※必要に応じて (各所属) | ○ (各所属) | × | ○ (各所属) | ○※事務局校以外 (事務局) | |
| 7 | 一般参加者 | ○※必要に応じて (各所属) | ○ (各所属) | × | ○ (各所属) | ○※必要に応じて (各所属) | |

【沖特研評議員会・総会等の旅費等の取り扱いについて】

| No | | 宿泊費 | 旅費 | 謝金 | 参加費 | 弁当 | 備考 |
|----|--------------|-------------------|-------------|------------|-----|-------------------|--|
| 1 | 来賓 | × | × | × | × | × | |
| 2 | 沖特研 本部役員 | × | ○※ (事務局) | × | × | × | ※挨拶のある本部役員 |
| 3 | 沖特研 各支部役員 | × | ○ (各所属) | × | × | × | 各支部長・副支部長・評議員 |
| 4 | 講演講師 | ○ (事務局) | ○ (事務局) | ○ (事務局) | × | ○※必要に応じて (事務局) | 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支 援教育調査官 加藤 典子 様 琉球大学教職大学院准教授 城間 園子 様 |
| 5 | 会員 | ○※必要に応じて (各所属) | ○ (各所属) | × | × | × | |

議題⑤-2 R6分担金納入状況

令和6年度 沖特研 分担金納入状況 (No.1)

2024/6/5 36%

| | 特別支援学校 | 納入日 | 金額 | | 市町村教育委員会 | 納入日 | 金額 |
|----|------------|------|---------|----|-----------|---------------|--------|
| 1 | 名護特別支援学校 | 5/28 | 21,100 | 1 | 国頭村教育委員会 | 5/30 | 2,100 |
| 2 | 美咲特別支援学校 | | | 2 | 大宜味村教育委員会 | | |
| 3 | 大平特別支援学校 | | | 3 | 東村教育委員会 | | |
| 4 | 島尻特別支援学校 | 6/3 | 42,550 | 4 | 今帰仁村教育委員会 | | |
| 5 | 宮古特別支援学校 | | | 5 | 本部町教育委員会 | 5/30 | 5,600 |
| 6 | 八重山特別支援学校 | | | 6 | 名護市教育委員会 | | |
| 7 | 西崎特別支援学校 | | | 7 | 宜野座村教育委員会 | 5/30 | 2,800 |
| 8 | 沖縄高等特別支援学校 | 5/29 | 9,000 | 8 | 金武町教育委員会 | | |
| 9 | はなさき支援学校 | 6/5 | 23,300 | 9 | 伊江村教育委員会 | 5/22 | 2,100 |
| 10 | やえせ特別支援学校 | 5/22 | 2,100 | 10 | 伊平屋村教育委員会 | 5/21 | 1,400 |
| 11 | 中部農林高等支援学校 | 5/24 | 2,100 | 11 | 伊是名村教育委員会 | | |
| 12 | 陽明高等支援学校 | 5/20 | 4,050 | 12 | 恩納村教育委員会 | | |
| 13 | 南風原高等支援学校 | 6/4 | 4,050 | 13 | うるま市教育委員会 | | |
| 14 | 那覇みらい支援学校 | 6/4 | 18,350 | 14 | 読谷村教育委員会 | | |
| | | | 126,600 | | 嘉手納町教育委員会 | 学校毎納入(No.2参照) | |
| | | | | 15 | 沖縄市教育委員会 | | |
| | | | | 16 | 北谷町教育委員会 | | |
| | | | | 17 | 宜野湾市教育委員会 | 6/5 | 25,900 |
| | | | | 18 | 北中城村教育委員会 | 5/28 | 2,800 |
| | | | | 19 | 中城村教育委員会 | 5/31 | 4,200 |
| | | | | 20 | 西原町教育委員会 | | |
| | | | | | 那覇市教育委員会 | 学校毎納入(No.2参照) | |
| | | | | 21 | 浦添市教育委員会 | 5/30 | 21,000 |
| | | | | 22 | 久米島町教育委員会 | | |
| | | | | 23 | 南大東村教育委員会 | | |
| | | | | 24 | 北大東村教育委員会 | | |
| | | | | 25 | 豊見城市教育委員会 | 5/28 | 13,300 |
| | | | | 26 | 糸満市教育委員会 | | |
| | | | | 27 | 南城市教育委員会 | 5/31 | 7,700 |
| | | | | 28 | 八重瀬町教育委員会 | | |
| | | | | 29 | 与那原町教育委員会 | 5/31 | 6,300 |
| | | | | 30 | 南風原町教育委員会 | | |
| | | | | 31 | 渡嘉敷村教育委員会 | | |
| | | | | 32 | 座間味村教育委員会 | | 0 |
| | | | | 33 | 粟国村教育委員会 | 5/30 | 700 |
| | | | | 34 | 渡名喜村教育委員会 | | |
| | | | | 35 | 宮古島市教育委員会 | 6/3 | 21,000 |
| | | | | 36 | 多良間村教育委員会 | 5/24 | 700 |
| | | | | 37 | 石垣市教育委員会 | | |
| | | | | 38 | 竹富町教育委員会 | | |
| | | | | 39 | 与那国町教育委員会 | | |

議題⑤-2 R6分担金納入状況

令和6年度 沖特研 分担金納入状況 (No.2)

2024/6/5 36%

| 那覇市小学校 | | | | 那覇市中学校 | | | |
|--------|------|-------|----|----------|-------|----|----|
| | 納入日 | 金額 | | 納入日 | 金額 | | 金額 |
| 1 | | | 1 | | | | |
| 2 | | | 2 | 5/30 | 700 | | |
| 3 | 5/29 | 1,400 | 3 | | | | |
| 4 | | | 4 | 5/20 | 1,400 | | |
| 5 | | | 5 | | | | |
| 6 | | | 6 | | | | |
| 7 | 6/5 | 600 | 7 | 5/21 | 1,400 | | |
| 8 | | | 8 | 6/3 | 1,400 | | |
| 9 | 5/23 | 2,100 | 9 | | | | |
| 10 | | | 10 | 6/4 | 1,400 | | |
| 11 | | | 11 | 5/21 | 1,400 | | |
| 12 | | | 12 | 5/21 | 1,400 | | |
| 13 | 5/23 | 700 | 13 | | | | |
| 14 | | | 14 | | | | |
| 15 | 5/31 | 1,400 | 15 | | | | |
| 16 | | | 16 | | | | |
| 17 | | | 17 | | | | |
| 18 | | | | | | | |
| 19 | | | | | | | |
| 20 | 5/28 | 1,400 | | | | | |
| 21 | 5/17 | 700 | | | | | |
| 22 | | | | | | | |
| 23 | | | | | | | |
| 24 | | | | | | | |
| 25 | | | | | | | |
| 26 | | | | | | | |
| 27 | | | | | | | |
| 28 | 6/3 | 1,400 | | | | | |
| 29 | | | | 嘉手納町小中学校 | 納入日 | 金額 | |
| 30 | | | 1 | 嘉手納小学校 | | | |
| 31 | | | 2 | 屋良小学校 | | | |
| 32 | | | 3 | 嘉手納中学校 | | | |
| 33 | 5/31 | 1,850 | | | | | |
| 34 | | | | | | | |
| 35 | | | | | | | |
| 36 | | | | | | | |

第52回 沖縄県特別支援教育研究会 研究大会 〈一次案内〉

沖縄県における持続可能な特別支援教育の質の向上を目指して

～知的障害児の各教科等を通じた多様な学びの保障～

● 大会主題

● 開催趣旨

近年の高度情報化やグローバル化といった急速な社会的変化、また新型コロナウイルスの流行に伴う社会構造の転換など、私たちはまさに予測困難な時代に直面しています。そのような社会においても子ども達が自らの生きる力を高め発揮し、主体的に社会に参加できるよう、特別支援教育においてはこれまで以上に質の高い教育の展開が求められています。

2022年9月、国連の障害者権利委員会が、障害者の権利条約に対する我が国の審査結果として、「障害のある子が分離された教育が続いている」などとされ、すべての子どもに対してインクルーシブ教育を確保するよう勧告。それを受け、文部科学省は多様な学びの場による特別支援教育の中止は考えていないとし、インクルーシブ教育システムの一層の推進に努めるとしています。

また、現行の学習指導要領では小・中学校特別支援学級及び特別支援学校において、各教科の内容の一層の充実による学びの連続性を重視した対応が必要とされています。

本研究会として、共生社会の実現に向けて知的障害のあるすべての子ども達の各教科等を中心とした多様な学びと多様な学びの場をどう保障するのか、県内各地からの実践報告や協議を深めることを通じて互いに研鑽を深め、専門性を高めることにより、本県における持続可能な特別支援教育の質の向上を目指していきたいと考えています。

● 期 日 令和6年12月13日(金)

● 開 場 県立名護特別支援学校 体育館 他

● 主 催 沖縄県特別支援教育研究会

● 後 援 沖縄県教育委員会(予定) 名護市教育委員会(予定)

沖縄県特別支援学級・通級指導教室設置学校校長会(予定) 沖縄県特別支援学校校長会(予定)

沖縄県特別支援学校 PTA 協議会(予定)

沖縄県情緒障害教育研究会(予定) 那覇・浦添地区中学校特別支援教育研究会(予定)

● 参加者 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教職員、保育園の職員、障害のある子を持つ保護者やご家族、そのほか特別支援教育に従事または関心のある皆さま

● 参加費用 500円

● 日 程 ※下記の日程については、令和6年6月現在での予定で今後変更の可能性あります。

| | | | | | | |
|----|-------|---------------|-----------------|--------------|-------------|----|
| 時間 | 9:30- | 9:45-10:40 | 10:40-12:15 | 12:25-14:30 | 14:40-16:30 | 散会 |
| 日程 | 受付 | 公開授業 (2校時) | 休憩・研修動画上映・教材見学等 | 開会行事 記念講演 | 分科会 | |

※昼食は各自でご用意ください。昼食会場はランチルームを開放いたします。

● 記念講演

演 題:「 未定 」 講 師: 綿貫 愛子 氏 (NPO 法人東京都自閉症協会 役員)

● 分科会とテーマ

研究大会では下記の7つの分科会において、特別支援学級・特別支援学校より1件ずつ実践事例の提案があります。また、提案後は、分科会ごとのテーマに沿った研究協議が行われ、専門家による指導助言を受けます。

| 分科会 | テーマ |
|-----------------------------------|--|
| ① 各教科の指導(小学校段階) | 各学年の学びの連続性と系統的な学習内容による教科別の指導の在り方 |
| ② 各教科の指導(中学校・高等学校段階) | 各学校間の学びの接続を意識した教科別の指導の在り方 |
| ③ 各教科等を合わせた指導 特別の教科 道徳・特別活動・総合 | 生活年齢に応じた生活に必要な生きる力の育成を目指した各教科等を合わせた指導 社会生活で必要な基礎的な部分の定着及び個性の充実を目指す授業づくり |
| ④ 自立活動 | 一人ひとりの教育的ニーズに応じた知的障害児に必要な自立活動の指導 |
| ⑤ キャリア教育・進路指導 | 義務教育段階からの一貫したキャリア教育の充実 |
| ⑥ 交流及び共同学習 | 共生社会の実現に向けた交流及び共同学習 |
| ⑦ 特別支援学級における就学支援 | 校内就学支援委員会の充実-学びの場の見直し、柔軟な対応の在り方- |

《問い合わせ》

沖縄県立名護特別支援学校(名護市宇茂佐 760 番地)

令和6年度 沖縄県特別支援教育研究会
事務局長 諸見里知恵 会計 屋比久妙子

TEL: 0980-52-0505
FAX: 0980-54-1486

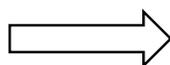
MAIL: okitokuken@as.open.ed.jp
HP: http://www.okitokuken-as.open.ed.jp→



研究大会分科会テーマについての確認事項

(※令和5年度第3回評議員会で議決済)

| | R5年度 分科会名 |
|---|--|
| 1 | 各教科等の指導 (小学校段階) |
| 2 | 各教科等の指導 (中学校・高等学校段階) |
| 3 | 各教科等を合わせた指導 |
| 4 | キャリア教育・進路指導 |
| 5 | 自立活動 |
| 6 | 交流及び共同学習 |
| 7 | 課題別テーマ(R5はICT教育) 自閉症支援・早期教育・寄宿舎指導・ICTほか |



| | 改訂案(R6.2月) |
|---|--|
| 1 | 各教科の指導 (小学校段階) |
| 2 | 各教科の指導 (中学校・高等学校段階) |
| 3 | 各教科等を合わせた指導 特別の教科道徳・特別活動・ 総合的な学習 |
| 4 | キャリア教育・進路指導 |
| 5 | 自立活動 |
| 6 | 交流及び共同学習 |
| 7 | 原則設定しない ※事務局校が必要に応じて |

〈提案内容〉

・令和6年度、上記のテーマで分科会を運営する。

第1～3分科会について

・第1分科会及び第2分科会は「各教科の指導」とし、各教科等にふくまれていた「領域等の指導（特別の教科道徳・外国語活動・特別活動・総合的な学習（探求）の時間）」は第3分科会の「各教科等を合わせた指導」と合わせる。※自立活動は独立した分科会があるため含まない。

（理由）

- ・「各教科等を合わせた指導」は知的障害のある児童生徒に対して効果的な指導を進めるため、特に必要のあるときは各教科等を合わせて授業を行うことができるとされていることから知的障害教育の特色ある指導の形態といえる。しかし、今次の学習指導要領により、知的障害教育において各教科等における資質・能力を確実に育成するため、より一層「教科別指導」が重視されていることから、県内知的特別支援学校において指導の形態として「各教科等を合わせた指導」を実践している学校が減少している。したがって、第3分科会の取り扱いについて再考する必要がある。
- ・領域等の指導は、各教科等を合わせた指導から教科別指導を重視する教育課程の再編成と相まって、重要性を増している。領域等の指導を第3分科会に取り入れることで、領域等の指導の在り方や方法についても焦点を当てて、協議できる機会となる。

※九特連の提案割当て「第3分科会」と割り当てられた場合（令和10・11年度予定）は、他の県と調整できるよう九特連事務局に現段階から相談する。分科会の交代によって提案割当てに変更があった場合は、変更後のテーマを担当する支部が九特連提案を担うこととする。

第7分科会について

・令和5年度までは、課題別テーマの1枠は当該年度の事務局が担い、もう1枠を事務局が課題に応じて依頼することになっているが（令和7、8年度においてはそれぞれ八重山特支と島尻特支が割り当てられており、もう一枠の提案者を事務局が探すことになっている）、新たに分科会テーマを設定するよりも、提案者輪番が既に決まっている既存の6分科会に焦点を当て、協議を進めていきたいとのことから、原則、第7分科会は設定しないこととする。

・昨今の教育的課題等により、第7分科会の設置が特に必要と事務局校が判断する場合は、テーマ設定及び提案者選出・依頼を事務局が行い、評議員会等で提案する。

※懸念される九特連との関係について、九特連の分科会において第6・7分科会は開催県が独自にテーマ設定することになっており、沖特研のテーマとは異なる場合がある。九特連分科会において本県が第6・7分科会を割り当てられたら、テーマに応じてその年の事務局校が対応にあたる。（事務局校からの発表者の選出、または小中発表者への依頼。）

議題⑥-2 今年度の分科会テーマ

| 分科会 | | 九特連のテーマ | R6 全特連のテーマ | 今年度のテーマ | 討議の柱の例 ※全特連参考 |
|-----|------------------------|--|--|---------------------------------------|---|
| 1 | 各教科の指導 (小学校段階) | 主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた各教科等の指導のあり方 | 教科の良さや学ぶ楽しさを実感できる授業づくり | 各学年の学びの連続性と系統的な学習内容による教科別の指導の在り方 | ○語彙を増やし、表現を豊かにする効果的な指導の在り方 ○身についた力を子ども自身が実感できる場の設定の工夫 |
| 2 | 各教科の指導 (中学校・高等学校段階) | 主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた各教科等の指導のあり方 | 教科の良さや学ぶ楽しさを実感できる授業づくり | 各学校間の学びの接続を意識した教科別の指導の在り方 | ○教科学習において、じぶんらしく表現するための工夫 ○表現力を高めるための学習活動の在り方 |
| 3 | 各教科等を合わせた指導 | 児童生徒一人一人が力を発揮し、主体的に活動する各教科等を合わせた指導のあり方 | 自立と社会参加を目指す作業学習/子どもたち一人一人が力を発揮し生き生きと輝く日常生活の指導・生活単元学習 | 生活年齢に応じた生活に必要な生きる力の育成を目指した各教科等を合わせた指導 | ○主体性「やりたい」「分かる」「できる」を引き出すための工夫 ○自立と社会参加を促す(目指した)指導の在り方 |
| | 特別の教科 道徳・特別活動・総合的な学習 | 《分科会設定なし》 | 《分科会設定なし》 | 社会生活に必要な基礎的な部分の定着及び個性の充実を目指す授業づくり | ○主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決するための指導のあり方 ○自らを律しつつ、他人と共に協調力を向上させる工夫 |
| 4 | キャリア教育・進路指導 | 児童生徒が自分らしく主体的に自立と社会参加を目指す進路指導のあり方 | 自立と社会参加に向けたキャリア教育 | 義務教育段階からの一貫したキャリア教育の充実 | ○自己をみつめる振り返り活動について ○児童生徒の実態に応じたキャリア教育 |
| 5 | 自立活動 | 主体的に困難の改善・克服に取り組む自立活動の指導のあり方 | 一人一人に応じた自立活動の充実 | 一人ひとりの教育的ニーズに応じた知的障害児に必要な自立活動の指導 | ○子どもの「やってみよう」を引き出す指導の在り方 ○一人一人に応じた自立活動の計画 |
| 6 | 交流及び共同学習 | 《分科会設定なし》 | 共生社会に生きる力を育む交流及び共同学習 | 共生社会の実現に向けた交流及び共同学習 | ○豊かな関わりを育み、双方に学びのある交流及び共同学習の在り方 ○ねらいを明確にし、組織的に行う交流及び共同学習の在り方 |
| 7 | 特別支援学級における就学支援 | 《分科会設定なし》 | 《分科会設定なし》 | 校内就学支援委員会の充実・学びの場の見直し、柔軟な対応の在り方 | ○校内就学支援委員会の充実と在り方(校長のリーダーシップ) ○校内就学支援委員会におけるコーディネーターの役割 |

【作成要領】

- 研究大会の大会主題に照らして事務局がテーマを検討・設定し、評議員会にて提案する。
- 学習指導要領の内容や九特連・全特連の分科会テーマを参考にする。

【備考】

- 令和5年度第3回評議員会にて分科会テーマの再編が行われている(前項の確認事項参照)。令和6年度から再編された分科会のもと提案する。

【参考】令和10年度までの分科会提案割当

| | 分科会名 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 分科会名 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | | |
|-----|--------------------|-------------|-------------|-------------|-------------------|----------------------------------|---------------------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|--------------|-------------|-------------|
| | | 第48回 | 中止 | 第49回 | 九特連(沖繩大会) 第50回 | | 第51回 | 第52回 | 第53回 | 第54回 | 第55回 | 第56回 | | |
| 1 | 日常生活の指導・寄宿舎指導・自立活動 | 西崎特支 | 中止 | 八重山特支 | 島尻地区 小学校 | 各教科等の指導(小学校段階) | 島尻特支 | はなさき支援 | 西崎特支 | 大平特支 | 名護特支 | 八重山特支 | | |
| | | 美咲特支 | | 国頭地区 中学校 | 浦添地区 小学校 | | 中頭地区 小学校 | 宮古地区 小学校 | 中頭地区 小学校 | 国頭地区 小学校 | 島尻地区 小学校 | 那覇地区 小学校 | | |
| 2 | 生活単元学習 | 美咲特支 | | 名護特支 | 宮古地区 中学校 | 各教科等の指導(中学校・高等学校段階) | 宮古特支 | 島尻特支 | みらい支援 | 高等特支 | 美咲特支 | やえせ高支 | | |
| | | 那覇地区 小学校 | | 島尻特支 | 大平特支 | | 中頭地区 中学校 | 国頭地区 中学校 | 宮古地区 中学校 | 中頭地区 中学校 | 島尻地区 中学校 | 中頭地区 中学校 | | |
| 3 | 作業学習・キャリア教育 | 高等特支 | | 中止 | 宮古特支 | 九特連の 分科会 に準ずる (別紙参照) | 各教科等を合わせた指導/特別の教科道徳・特別活動・総合的な学習 | 大平特支 | 大平特支 | 大平特支 | 西崎特支 | みらい支援 | 宮古特支 | |
| | | 大平特支 | | | 西崎特支 | | | 国頭地区 小学校 | 浦添地区 小学校 | 那覇地区 中学校 | 八重山地区 小学校 | 那覇地区 小学校 | 島尻地区 小学校 | |
| 4 | 教科別指導 | はなさき 特支 | | | 美咲特支 | | 高等特支 | キャリア教育・進路指導 | 名護特支 | 高等特支 | はなさき支援 | 中部農林 高支 | 島尻特支 | 陽明高支 |
| | | 国頭地区 中学校 | 島尻地区 小学校 | | 八重山地区 中学校 | | 中頭地区 中学校 | | 那覇地区 小学校 | 中頭地区 小学校 | 中頭地区 中学校 | 那覇地区 中学校 | | |
| 5 | 自閉症・発達障害への支援 | 名護特支 | 中止 | | 高等特支 | | 自立活動 | 自立活動 | 美咲特支 | 美咲特支 | 島尻特支 | 名護特支 | 西崎特支 | みらい支援 |
| | | 宮古地区 小学校 | | | 大平特支 | | | | はなさき支援 | 島尻地区 中学校 | 中頭地区 小学校 | 八重山地区 中学校 | 那覇地区 中学校 | 国頭地区 小学校 |
| 6 | 交流および共同学習 | 宮古特支 | | | はなさき支援 | | | 島尻特支 | 交流及び共同学習 | 高等特支 | 八重山特支 | 南風原 高支 | みらい支援 | 大平特支 |
| | | 島尻地区 中学校 | | 那覇地区 中学校 | 宮古特支 | 浦添地区 小学校 | | 島尻地区 小学校 | | 国頭地区 小学校 | 那覇地区 小学校 | 八重山地区 小学校 | 国頭地区 小学校 | |
| 7 | 早期教育 | 八重山特支 | | 中止 | 美咲特支 | 課題別テーマ 自閉症支援・早期教育・寄宿舎指導・ICTほか | | 西崎特支 | 事務局が課題に応じて依頼 | | | | | |
| | | 伊波幼稚園 | | | のびる保育園 | | | 名護特支 | 事務局が課題に応じて依頼 | | | | | |
| 事務局 | 島尻特支 | 大平特支 | | | 名護特支 | 美咲特支 | | はなさき支援 | | | | | | |

| 令和元年度～令和10年度 割り当て実績 | | |
|------------------------|-----|-----|
| 支部・校種 | 人数 | 提案枠 |
| 国頭 小 | 45 | 9 |
| 国頭 中 | 25 | 4 |
| 中頭 小 | 156 | 11 |
| 中頭 中 | 67 | 5 |
| 浦添 小 | 21 | 3 |
| 那覇 小 | 71 | 5 |
| 那覇 中 | 43 | 4 |
| 島尻 小 | 70 | 8 |
| 島尻 中 | 31 | 3 |
| 宮古 小 | 20 | 4 |
| 宮古 中 | 10 | 2 |
| 八重山小 | 22 | 4 |
| 八重山中 | 12 | 2 |
| 名護特支 | 36 | 6 |
| 美咲特支 | 84 | 9 |
| はなさき支援 | 41 | 4 |
| 高等特支 | 15 | 5 |
| 大平特支 | 65 | 8 |
| 島尻特支 | 46 | 6 |
| みらい支援 | 49 | 4 |
| 西崎特支 | 47 | 6 |
| 宮古特支 | 26 | 5 |
| 八重山特支 | 20 | 4 |
| 中部農林高支 | 3 | 1 |
| 陽明高支 | 6 | 1 |
| 南風原高支 | 6 | 1 |
| やえせ高支 | 3 | 1 |

【作成要領】

- 提案者の割り当てにおいては、支部の学級数や割り当て実績(右表)を参照し配分する
- 各分科会において、小・中学校と特別支援学校の提案を一律ずつ配分する
- 事務局を交代した年度に、古い順から2年度分を削除し新たに2年度分を追加して提案する

【備考】

- 令和10年度までの提案者は、昨年度までに議決済み
- 提案以外(司会・記録・運営)については当該年度の事務局が別紙にて割り当て
- 編みかけのセルの提案者は、同年度に開催される九特連・全特連研究大会の提案を兼ねる(但し、※印については開催県がテーマを設定することとなり現時点でテーマは決まっていない)
- 令和2年度の研究大会は中止のため実績としてカウントしないが、令和4年度の九特連(沖繩大会)はカウントする
- 令和5年度九特連研究大会において第7分科会のテーマが「人材育成」となったためはごろも小学校が提案を行う。したがって中頭地区小学校に提案割り当て実績1カウント追加する
- 令和6年度の九特連提案は佐賀県事務局の意向により提案割当に変更があったため、提案割当に変更を加える。R6年度網かけ支部(国頭地区中学校、美咲特支)に提案実績として2カウントする
- 令和6年度より第3分科会を「各教科等を合わせた指導/特別の教科道徳・特別活動・総合的な学習」とする(令和5年度第3回評議員会で議決済み)
- 令和6年度より第7分科会(課題別テーマ)は原則設定しない。ただし、事務局が必要に応じて設定する場合は事務局が課題に応じて提案者を選出・依頼する。九特連研究大会での提案が第7分科会で割り当てられている場合は事務局が課題に応じて提案者を選出、依頼する(令和5年度第3回評議員会で議決済み)

R5課題別
テーマ
「ICT」

議題⑥-3 今年度の研究大会 分科会役割分担

| 分科会 | テーマ | 提案① | 提案② | 司会 | 記録 | 運営 | 助言 | |
|-----|-------------------------|---------------------------------------|--------|-------------|--------|-------------|--------------|-----|
| | | 特別支援学校 | 小・中学校 | | | | | |
| 1 | 各教科等の指導 (小学校段階) | 各学年の学びの連続性と系統的な学習内容による教科別の指導の在り方 | はなさき支援 | 宮古地区 小学校 | 島尻特支 | 国頭地区 小学校 | みらい支援 | 検討中 |
| | | | | | | 中頭地区 小学校 | 〈会場〉 名護特支 | |
| 2 | 各教科等の指導 (中学校・高等学校段階) | 各学校間の学びの接続を意識した教科別の指導の在り方 | 島尻特支 | 国頭地区 中学校 | 西崎特支 | 那浦地区 中学校 | 大平特支 | 検討中 |
| | | | | | | 中頭地区 中学校 | 〈会場〉 名護特支 | |
| 3 | 各教科等を合わせた指導 | 生活年齢に応じた生活に必要な生きる力の育成を目指した各教科等を合わせた指導 | 大平特支 | 浦添地区 小学校 | はなさき支援 | 国頭地区 小学校 | 西崎特支 | 検討中 |
| | 特別の教科 道徳・特別活動・総合的な学習 | 社会生活に必要な基礎的な部分の定着及び個性の充実を目指す授業づくり | | | | 国頭地区 中学校 | 〈会場〉 名護特支 | |
| 4 | キャリア教育・進路指導 | 義務教育段階からの一貫したキャリア教育の充実 | 高等特支 | 中頭地区 中学校 | 高等特支 | 中頭地区 小学校 | 島尻地区 小学校 | 検討中 |
| | | | | | | 島尻地区 中学校 | 〈会場〉 名護特支 | |
| 5 | 自立活動 | 一人ひとりの教育的ニーズに応じた知的障害児に必要な自立活動の指導 | 美咲特支 | 中頭地区 小学校 | みらい支援 | 那浦地区 小学校 | 西崎特支 | 検討中 |
| | | | | | | 国頭地区 中学校 | 〈会場〉 名護特支 | |
| 6 | 交流及び共同学習 | 共生社会の実現に向けた交流及び共同学習 | 八重山特支 | 島尻地区 小学校 | 美咲特支 | 島尻地区 中学校 | みらい支援 | 検討中 |
| | | | | | | 那浦地区 小学校 | 〈会場〉 名護特支 | |
| 7 | 特別支援学級における就学支援 | 校内就学支援委員会の充実一学びの場の見直し、柔軟な対応の在り方 | 検討中 | 検討中 | 名護特支 | 名護特支 | 名護特支 | 検討中 |
| | | | | | | 名護特支 | 〈会場〉 名護特支 | |

| 配分の目安 | | | | |
|--------|-------|----|----------|---|
| 支部 | R6学級数 | 提案 | 司会・記録・運営 | |
| 国頭 小 | 45 | 0 | 4 | 2 |
| 国頭 中 | 25 | 1 | 3 | 2 |
| 中頭 小 | 156 | 1 | 3 | 2 |
| 中頭 中 | 67 | 1 | 1 | 1 |
| 浦添 小 | 21 | 1 | 0 | 0 |
| 那覇 小 | 71 | 0 | 0 | 0 |
| 那浦 小 | 92 | 1 | 3 | 2 |
| 那浦 中 | 43 | 0 | 1 | 1 |
| 島尻 小 | 70 | 1 | 3 | 1 |
| 島尻 中 | 31 | 0 | 2 | 2 |
| 宮古 小 | 20 | 1 | 0 | 0 |
| 宮古 中 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 八重山小 | 22 | 0 | 0 | 0 |
| 八重山中 | 12 | 0 | 0 | 0 |
| 名護特支 | 36 | 0 | 4 | 4 |
| 美咲特支 | 84 | 1 | 1 | 1 |
| はなさき支援 | 41 | 1 | 1 | 1 |
| 高等特支 | 15 | 1 | 1 | 1 |
| 大平特支 | 65 | 1 | 1 | 1 |
| 島尻特支 | 46 | 1 | 1 | 1 |
| みらい支援 | 49 | 0 | 3 | 3 |
| 西崎特支 | 47 | 0 | 3 | 3 |
| 宮古特支 | 26 | 0 | 0 | 0 |
| 八重山特支 | 20 | 1 | 0 | 0 |
| 中農高支 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 陽明高支 | 6 | 0 | 0 | 0 |
| 南風原高支 | 6 | 0 | 0 | 0 |
| やえせ高支 | 3 | 0 | 0 | 0 |

【令和6年度作成要領】

- (1) 沖特研の「研究大会 分科会提案者 割り当て表」を参照し配分する
- (2) 司会及び運営は特別支援学校、記録は小・中学校が担当する
- (3) 宮古地区・八重山地区の小・中学校および特別支援学校については、提案者以外の割り当てを配慮する ※令和5年度第3回評議委員会で議決済
- (4) 高等支援学校4校については、学級数が少ないため提案者以外の割り当てを配慮する

【備考】

- ・運営に事務局校の名護特支をそれぞれ追加し会場の管理を行う
- ・9月上旬を目途に提案者と各係の氏名報告、また提案者の提案内容についてご報告をお願い致します(詳細は後日書にて)
- ・「司会」の係を一人とする(事前に参加ができないことが分かれば担当支部で代理を立て、急きよ参加できなくなった際は事務局から代理で行う)

議題⑥-4 研究大会 分科会の持ち方について

前年度

- ・第1～7分科会設置。
- ・提案者は分科会の内容に沿った実践・取り組みを見開き2ページにまとめ、当日20分で発表。
- ・各分科会、提案者は2名。指導助言者1名。
そのほか司会・記録・運営の係を各支部に割り当て進行。
- ・今年度、各提案者は20分の発表、15分の質疑応答、分科会の後半で分科会の内容に沿った指導助言を30分程度いただく。
- ・参加者は提案者や指導助言者の発表を聞いて、感想を述べたり質問をしたりする。

今年度案 分科会提案割当は議決済のものをそのまま活用する。(1テーマにつき特支1、小中支部1)

- ・提案割当になっている支部は分科会のテーマに沿った実践事例を原則3つ以上もってくる。
(実践内容や取り組む上で困っていること・悩みや教材の紹介などを記入できるようにする。)
- ※様式例は後ほど提案。
- ・参加者にも自分の実践事例や実践上の悩み等を持ってきていただくよう呼びかけはする。(任意)
- ・持ち寄った実践事例や分科会の討議議の柱(事務局が提案したものや分科会係内で決めてもよい)を通して、協議を深める。



☆各学校・参加者が実践するうえで困っていることや悩みを共有したり
様々な実践事例に触れたりし、今後の指導のヒントを得る。

☆指導助言者には、分科会のテーマに沿った内容の講話をしていただき協議の様子等から指導助言をいただく。

※従来の形式での提案をご希望であればそれでもよい。 → その場合は事務局までご一報ください。

※九特連での提案について

- ・九特連での提案割当の輪番はそのままにする。
- ・九特連での提案を兼ねる支部は、沖特研での提案も九特連提案の様式のまままでよい。

今年度やってみて、その後アンケート等を通して
令和7年度以降どのように分科会運営を行うかを検討する

※令和5年度第3回評議員会で議決済。

(Ⅰ)分科会「各教科の指導(小学校段階)」

テーマ:各学年の学びの連続性と系統的な学習内容による教科別指導の在り方

事例:「教科書を活用した国語の授業」

1. 実践について

(1) 実践のねらい

系統立てられている『☆本』や『ゆっくり学ぶ子のための』の教科書を使用することで、子どもたちの段階目標に応じた授業を行うことができる。

(2) 取組の内容(取組事例、対象、方法等)

対象:小学部6年 小学部2段階目標の児童5名

方法:☆本を活用しての授業

取組み事例:小学部6年生なので小学部3段階の学習を履修しながら、個人目標を小学部2段階に設定している児童に対する国語の授業で行った。

例えば、『かめのこ。いしのうえ。』では「A 聞くこと・話すこと3段階目標 カ 相手の話に関心をもち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすることができる。」の目標を「相手の話に関心をもち、相手の考えを受け止めることができる。」として、「うえ」「した」助詞の「の」を学習した。相手の考えを受け止める活動を深めるため宝探しの活動を行った。その際に「机のした」や「棚のうえ」など学習した内容と日常に使う単語とを組み合わせることで生活に根ざした授業づくりになることを意識した。

2. 成果と今後の課題・共有したい悩みなど

(取組についての評価等)

(1) 成果

- ・教科書に沿って進めることで系統立てて指導することが容易になった。
- ・教えた内容が分かりやすいため、授業準備や教材教具の研究時間が短くなり、子どもたちに関わる時間が増えた。
- ・引き継ぎの際にどこまでやったかの確認がしやすい。
- ・年間を通しての授業の見通しがもちやすい。

(2) 課題

- ・教科書(☆本やゆっくり学ぶこの)が無い教科はどうするか。
- ・教科書の内容だけでは理解が難しい時に、学びを深めるための活動を考える必要がある。
- ・同単元異目標の子どもたちに合う授業展開を考えるのが難しかった。

(3) 共有したい悩み

- ・内言語はあるが、発語が少ない児童に対してどのようなアプローチをしているか知りたい。
- ・生活年齢に合わせた指導の中で段階を落とした目標の子たちの活動はどのようにしているか。待つ時間が長くなってしまう。

例2

県立名護特別支援学校
教諭（ ）

(Ⅰ)分科会「各教科の指導(小学校段階)」

テーマ:各学年の学びの連続性と系統的な学習内容による教科別指導の在り方

事例:「教科等横断的な指導について」

1. 実践について

(1) 実践

学習指導要領内容の効果的で効率的な学びに向けての実践

(2) 取組の内容(取組事例、対象、方法等)

小学部6年生

〈行事に向けての授業展開〉

修学旅行に向けて、生活科(日課・予定、役割、基本的な生活習慣)・算数科(時計)・国語科(きくこと・はなすこと)・図工(A 表現ア(イ))・特別の教科道徳(主として人との関わりに関すること)などを同時期に実施。

2. 成果と課題・改善策(共有したい悩み)など

(1) 成果

従来の生活単元学習での取り組みから教科の視点での行事への取り組み方を考えた。教科の資質能力を明確にして指導することができた。

(2) 課題

年計を立てる段階で教科横断的な視点をもって編成できたらより色々な教科等に関連させて行えたのではないかな。

(3) 共有したい悩み

前年度担当学年教員が作成した年計を今年度、特に引き継ぎがないなど新しい教員が指導する場合に授業構成するにあたって難しいことがある。他校の年計作成の方法が知りたい。

例3

県立名護特別支援学校
教諭 ()

()分科会「各教科の指導(小学校段階)」

テーマ:各学年の学びの連続性と系統的な学習内容による教科別指導の在り方

事例:「算数:かぞえよう~100までのかず~」

1. 実践について

(1) 対象児童 小学部3段階 小学部5年生4名(算数専科抽出)

(2) 単元について

①教科・単元名: 算数・かぞえよう~100までのかず~ (さんすう☆☆☆)

※前単元は「かぞえてみよう~20までのかず(10といくつ)~」

②単元の目標・評価規準

| 単元の目標 | 評価規準 |
|--|--|
| <p>(知及技) ・100までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の系列を理解することができる。(小3段階 A ア(ア)㉗) ・数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすることができる。(小3段階 A ア(ア)㉘) (思判表力) ・数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすことができる。(小3段階 A ア(イ)㉗) (学・人) ・数量の違いを理解し、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。(小3段階)</p> | <p>(知・技) ・100までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の系列を理解している。 ・数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりしている。 (思判表力) ・数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、数学的な表現を用いて表している。 (学・人) ・数量の違いを理解し、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとする姿が見られる。</p> |

③単元のおおまかな流れと使用教材

| 単元のおおまかな流れ | 使用教材 |
|---|--|
| <p>①大きなかずのかきかた(さんすう☆☆☆p16,17) ・20以上あるものを10のまとまりと残りの「あといくつ」に分けて数え、その数を言えるようにする。 ・十進法位取り記数法を学び21以上の数についてその数の大きさが分かり、読んだり書いたりすることができるようにする。 ②じゅんばんにならべましょう(算数☆☆☆p13-21) ・20以上の数を順番に数唱したり書いたりする経験を重ね数の数列の理解につなげる。 ③10のまとまり(さんすう☆☆☆p26-27) ・10を一つのまとまりとして意識し、いろいろなものを10のまとまりとして数える。 ・数の操作をしながら数あるまとまりで捉える。</p> | <p>○さんすう☆☆☆(p16-) ○ブロック(1ずつのブロックと10のまとまりのブロックカード) ○机上用ホワイトボード ○たくさんの絵カード(身の回りのものを数える) ○学習プリント など</p> |

④本単元の学習活動について

- ・実物や絵カード等を用いて実際に多くのものを数えたり、数を比べたりする経験を重ねる。
- ・具体物や半具体物を実際に操作し、数をまとまりで数えることに慣れるようにする。
- ・1~100までの数唱をしたり書き表したりすることを通して数の数列に慣れる。(前後の数字からあてはまる数字を推測したり、連続する数の並びを推測したりする。)
- ・多くのものを数えるときは、10個ずつまとめるとより正確に早く数えられることに気付けるようにする。(場合によっては5飛びや2飛びで数える方法があることも指導する。)

- ・10を単位とした見方は金銭の理解につながるため、お金(硬貨)を数えるなど、算数の学習と日々の生活とを関連付け、児童が算数を学ぶよさを実感できるようにする。
- ・いろいろなものを数える経験を通してものによって「個」「本」「枚」「匹」などのように数え方が異なることに気付き、数助詞を用いて表現する活動を取り入れる。

⑤本単元における児童の評価(一部抜粋)

(知・技)単元「かぞえよう～100までのかず～」では、いろいろなものの個数を数えながら100までの数の数唱をしたり、表に書き表したりする活動に取り組んだ。たくさんを数える経験を重ねることで、数の系列を理解し、0～100までの数の表の穴埋めをすることができた。

(思・判・表)単元「かぞえよう～100までのかず～」において20個以上あるたくさんを数えたり、100までの数をブロックで表したりする学習に取り組んだ。ブロックを操作しながら数を表すことで、10のまとまりが何個、端数が何個で「何十何」と表すことができるようになった。また、教師と一緒に10までの端数を「2、4、6…」と2ずつ数え、手際よく数える方法があることに気付くことができた。

2. 成果と今後の課題・共有したい悩みなど

(1) 成果

- ・前単元(20までの数(「10のまとまりとあといくつ」))を踏まえての学習だったので、20以上の数でも、10のまとまりをつかって数えることにあまり抵抗感なく取り組むことができた。
- ・半具体物を用いて数え、実際にブロック等を操作しながら数えることで児童にとって理解しやすかったと考える。



(例「64は⑩が何個と①が何個?」や「⑩が6個と①が4個で何?」などの質問に答えられるようになってきた)

(2) 課題

- ・日常の中で学んだことを生かす場面を十分に設定できなかった。日常の場面で学んだことを生かす経験ができて、より学習内容が定着し学習意欲の向上につながったかもしれない。
- (生活の中でたくさんを数える経験、実際に硬貨を扱い買い物学習をするなど)

(3) 共有したい悩み

- ・どこまでを「できた」として判断して、学習を進めていくかの判断が難しいときがある。
- 例えば、計画の段階で単元の時数を決めているが、もう少しやったら定着しそうだから授業時数を増やしてやってみよう、これ以上は難しそう(評価規準を十分に達成はできていないけど...)だから次の単元に進もうの判断。
- ・小学部5・6年生が小学部3段階(さんすう☆☆☆)の内容を履修するが、小学部5年生で一通り学習し、小学部6年生でも同じ単元を繰り返す(児童の実態をみながら学習内容は深めつつ)学習するという考え方で良いのか。
- ・10以上の数の理解が難しい児童に小学部3段階の内容をどう取り扱っていくか。
- (障害が重い子どもへの教科のアプローチ)

議題⑦ 沖特研・九特連事務局輪番の確認

| | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 沖特研 | 第51回 | 第52回 | 第53回 | 第54回 | 第55回 | 第56回 | 第57回 | 第58回 |
| | 名護 | 名護 | 美咲 | 美咲 | はなさき | はなさき | 沖高特 | 沖高特 |
| 九特連 | 第57回 | 第58回 | 第59回 | 第60回 | 第61回 | 第62回 | 第63回 | 第64回 |
| | 福岡 | 佐賀 | 長崎 | 大分 | 熊本 | 宮崎 | 鹿児島 | 沖縄 |
| | 令和13年度 | 令和14年度 | 令和15年度 | 令和16年度 | 令和17年度 | 令和18年度 | 令和19年度 | 令和20年度 |
| 沖特研 | 第59回 | 第60回 | 第61回 | 第62回 | 第63回 | 第64回 | 第65回 | 第66回 |
| | 西崎 | 西崎 | 島尻 | 島尻 | 那覇みらい | 那覇みらい | 大平 | 大平 |
| 九特連 | 第65回 | 第66回 | 第67回 | 第68回 | 第69回 | 第70回 | 第71回 | 第72回 |
| | 福岡 | 佐賀 | 大分 | 長崎 | 熊本 | 宮崎 | 鹿児島 | 沖縄 |
| | 令和21年度 | 令和22年度 | 令和23年度 | 令和24年度 | 令和25年度 | 令和26年度 | 令和27年度 | 令和28年度 |
| 沖特研 | 第67回 | 第68回 | 第69回 | 第70回 | 第71回 | 第72回 | 第73回 | 第74回 |
| | 名護 | 名護 | 美咲 | 美咲 | R10新設校 | R10新設校 | はなさき | はなさき |
| 九特連 | 第73回 | 第74回 | 第75回 | 第76回 | 第77回 | 第78回 | 第79回 | 第80回 |
| | 福岡 | 佐賀 | 大分 | 長崎 | 熊本 | 宮崎 | 鹿児島 | 沖縄 |

※過去の開催校：平成10年度（全特連・九特連）大平、平成18年度（九特連）西崎、平成26年度（九特連）美咲、令和4年度（九特連）大平

※網掛け部分：九特連大会の年及び第60回・70回の沖特研記念大会の年となります

【作成要領】

- (1) 宮古特支、八重山特支、高等支援（南風原・陽明・やえせ・中農）は事務局輪番より除く
- (2) 九州大会（大会日程・全体会場の検討及び決定、旅行社との調整等）は開催2年前から準備が必要なため、当該年度の事務局は開催年度の評議員と協力をしながら準備を進める
- (3) 令和13年度までの県立特別支援学校編成整備計画より、令和10年度に中頭地区に知的障害特別支援学校を新たに開校予定とある為、那覇みらい支援の開校時における対応に倣い、令和25・26年度に新設校を輪番に加える

議題⑧-1 九特連 研究大会について

- 第58回 九州地区特別支援教育研究連盟 研究大会「佐賀大会」
※第52回 九州地区情緒障害教育研究会「佐賀大会」 合同開催
 - ・日時:令和6年8月2日(金) 9:00~16:00
 - ・会場:ホテルグランデはがくれ(佐賀市天神2丁目1番26号)
 - ・開催方法:参集とオンラインのハイブリッド型研修会
 - ・参加費:3,000円(参集、オンラインとも)
 - ・大会主題
「共生社会の中で自分らしく主体的に活動する子どもの育成を目指して」
 - ・記念講演
演題:「これからの特別支援教育を担う教職員に求められる資質や専門性とは何か」
講師:田中 良広 氏(帝京平成大学 人文社会学部 児童学科 小学校・特別支援コース 教授)
 - ・沖縄県の割り当て
 - 第2分科会「各教科等の指導(中学校・高等学校段階)」
主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた各教科等の指導のあり方
提案:大城 和義 教諭(大宜味中学校)
 - 第5分科会「自立活動」
主体的に困難の改善・克服に取り組む自立活動の指導のあり方
提案:玉城 裕士 教諭(美咲特支) 司会:東江 紀幸 教諭(名護特支)
指導助言者:長谷川 智子 指導主事(県立学校教育課 特別支援教育室)
- 第59回 九州地区特別支援教育研究連盟 研究大会「長崎大会」 ※R6.5.13 現在
 - ・日時:令和7年8月1日(金) 9:30~16:20
 - ・会場:アルカス SASEBO(佐世保市三浦町2-3)
 - ・開催形式:集合型とオンライン(オンデマンド)型を組み合わせたハイブリット形式
 - ・参加費:検討中
 - ・大会主題「未定」
 - ・記念講演「未定」
 - ・沖縄県の割り当て
 - 【提案者】 ※令和10年度までの分科会提案割当参照
 - 第5分科会「自立活動」 小中:八重山地区中学校
 - 第6分科会「交流及び共同学習」 特支:南風原高等支援学校
 - 【司会・指導助言者】
 - 第6分科会「交流及び共同学習」の司会及び指導助言者 各1人



令和6年度

第58回 九州地区特別支援教育研究連盟研究大会「佐賀大会」

第52回 九州地区情緒障害教育研究会「佐賀大会」 合同開催について

●大会主題

「共生社会の中で自分らしく主体的に活動する子どもの育成を目指して」

●期 日 令和6年 8 月 2 日(金)

●会 場 ホテルグランデはがくれ (佐賀市天神2丁目1番36号 TEL 0952-25-2212)

●開催方法 参集とオンラインのハイブリッド型研修会

●参加費 3,000円 参集、オンラインとも
 ※佐賀県内の教職員は1,000円の補助をしますので、参加費は2,000円です。

●日 程

| | | | | | | | | | | |
|-------|------|------|------------|----|-------|-------------|-------|-----|--------------------|-------|
| | 9:00 | 9:30 | 10:15 | | 12:00 | 13:00 | 13:30 | | 15:40 | 16:00 |
| 受付・開場 | 開会行事 | 記念講演 | Zoom ウェビナー | 昼食 | 受付・開場 | 分科会 | | | 諸連絡 アンケート 記入 | |
| | | | | | | 九特連大会 | | | | |
| | | | | | | 提案① | 提案② | 提案③ | | |
| | | | | | | 九情研大会 | | | | |
| | | | | | | 提案① | 提案② | | | |
| | | | | | | Zoom ミーティング | | | | |

●分科会

| 分科会 | | 提案① | 提案② | 提案③ | 司会 | 記録 | 指導助言 |
|-------|---|---------|---------|--------|-------|----|-------|
| 九特連大会 | 1 各教科等の指導 (小学校段階) テーマ「主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた各教科等の指導のあり方」 | 福岡(特支) | 長崎(小中) | 熊本(特支) | 福岡熊本 | 佐賀 | 福岡熊本 |
| | 2 各教科等の指導 (中学校・高等学校段階) テーマ「主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた各教科等の指導のあり方」 | 長崎(特支) | 大分(小中) | 沖縄(小中) | 長崎佐賀 | 佐賀 | 長崎佐賀 |
| | 3 各教科等を合わせた指導 テーマ「児童生徒一人一人が力を発揮し、主体的に活動する各教科等を合わせた指導のあり方」 | 大分(特支) | 宮崎(小中) | 佐賀(小中) | 大分佐賀 | 佐賀 | 大分佐賀 |
| | 4 キャリア教育・進路指導 テーマ「児童生徒が自分らしく主体的に自立と社会参加を目指す進路指導のあり方」 | 宮崎(特支) | 鹿児島(小中) | 福岡(小中) | 宮崎佐賀 | 佐賀 | 宮崎佐賀 |
| | 5 自立活動 テーマ「主体的に困難の改善・克服に取り組む自立活動の指導のあり方」 | 鹿児島(特支) | 熊本(小中) | 沖縄(特支) | 鹿児島沖縄 | 佐賀 | 鹿児島沖縄 |
| 九情研大会 | 6 自閉スペクトラム症 テーマ「子どもたちの自立と社会参加につながる特別支援教育の充実を目指して」 | 長崎 | 宮崎 | | 長崎宮崎 | 佐賀 | 佐賀 |
| | 7 自閉スペクトラム症(開催県) テーマ「子どもたちの自立と社会参加につながる特別支援教育の充実を目指して」 | 佐賀 | 佐賀 | | 佐賀 | 佐賀 | 佐賀 |
| | 8 LD,ADHD テーマ「子どもたちの自立と社会参加につながる特別支援教育の充実を目指して」 | 鹿児島 | 熊本 | | 鹿児島熊本 | 佐賀 | 佐賀 |

●記念講演

演題 「これからの特別支援教育を担う教職員に求められる資質や専門性とは何か」
講師 田中 良広氏
帝京平成大学 人文社会学部 児童学科 小学校・特別支援コース 教授

●総会について

九特連第2回評議員会でもって決議をとり、承認という流れをとらせていただきたいと思います。

●申込み (WEB による)

・申し込み方法について

下記申込専用URL/右記QRコード(AMARYS)にてお申し込みください。

<https://amarys-jtb.jp/commercial2023/>

※ログインIDとパスワードは申込者ご自身で設定ください。

・申し込み期間について(大会参加・弁当申込)

申し込み期間は、7月1日(月)10:00~7月19日(金)17:00までとします。

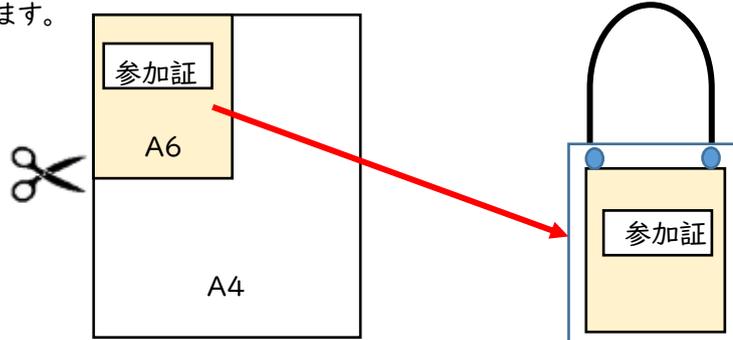
・参加証について

参加証を印刷してください。(A6サイズにて印刷をお願いします。)

当日ネームホルダーを配布しますので、印刷された参加証(切り取ったもの)を中に入れていただき、首からかけて参加をお願いします。



(この QR コードはモデルです)



●昼食について

- ・本大会の会場である、ホテルグランデはがくれでは、食物の持ち込みができません。(ご自分の飲み物は可)
- ・昼食に関しては、館外でされるか、ホテル内のレストラン、お弁当の注文になります。よろしく願いいたします。

●大会要項(提案原稿、資料等)について

- ・大会要項(提案原稿、資料等)については、7月初旬ごろに大会ホームページにて公開予定です。各自でダウンロードをお願いいたします。

●その他

- ・大会集録は、参加申し込みをいただいた方へ郵送いたします。

[大会事務局]
九州地区特別支援教育研究連盟研究大会
佐賀大会事務局
佐賀県立大和特別支援学校内
〒840-0213 佐賀市大和町大字久留間 3353 番地
TEL: 0952-62-1221 FAX: 0952-51-2009
事務局長 松本 展明
事務局員 武富 順子



佐賀県特別支援教育研究会のページは
佐賀県立大和特別支援学校 HP 内にあります。
<https://www./bit.ly/3PPsbAO>

[大会事務局]
九州地区情緒障害教育研究会
佐賀大会事務局
伊万里市立国見中学校内
〒849-4271 伊万里市東山代町長浜 1750 番地
TEL: 0955-23-5195 FAX: 0955-23-5196
事務局長 永元 千穂
事務局員 寺尾 紀子



九州地区情緒障害教育研究会のページ
<https://www.kyujoken.com>

議題⑧-2 全特連について

●第63回 全日本特別支援教育研究連盟 全国大会〈福井大会〉

・日時:令和6年11月21日(木)・22日(金)

・場所:1日目 全体会・理事・評議員研究協議会 フェニックスプラザ

2日目 学校見学会 分科会(フェニックスプラザ AOSSA ハピリン 織協ビル)

・大会主題:変化する社会の中で 自分らしさを生かし 生き生きと輝く子どもたち

～教育的ニーズに基づいた 一人一人の育ちを求めて～

・記念講演

演題:「一人一人が自分を表現できる未来へ」

講師:前田 鎌利 氏 (書家/プレゼンテーションクリエイター)

・**沖縄県の分科会割り当て** なし (九州ブロックからは佐賀県が提案)

※分科会担当県の輪番 佐賀(R6)→長崎→大分→宮崎→鹿児島

●第64回 全日本特別支援教区研究連盟 全国大会〈北海道大会〉

・日時:令和7年10月23日(木)・24日(金)

・場所:北海道札幌市中央区 カナモトホール 他

・大会主題:特別な配慮を必要とする子供たちがその可能性を最大限に伸ばすための指導・支援及び、将来の自立と社会参加に必要な力を育成するための適切な指導・支援を目指して

・記念講演

演題(仮):一人一人の良さや強みを生かした、子供主体の学びの実現

～一人一人に合った学びの場や授業づくり～

講師:竹林地 毅 氏 (広島都市学園大学 教授)

・**沖縄県の割り当て** なし (九州ブロックからは長崎県・大分県・宮崎県が提案予定)

※分科会担当県の輪番 佐賀(R6)→長崎→大分→宮崎→鹿児島→熊本→沖縄

第63回全日本特別支援教育研究連盟全国大会福井大会
第46回全日本特別支援教育研究連盟東海北陸地区研究大会(福井大会)
第70回福井県特別支援教育研究大会



第63回全日本特別支援教育研究連盟全国大会福井大会

(第一次案内)

「変化する社会の中で 自分らしさを生かし 生き生きと輝く子どもたち」
～教育的ニーズに基づいた 一人一人の育ちを求めて～

令和6年11月21日(木)・22日(金)

第63回全日本特別支援教育研究連盟全国大会福井大会を次の要項にて開催いたしますことをご案内申し上げます。

2024年(令和6年)は福井県にとって特別な年となっております。春には念願でありました北陸新幹線が敦賀駅まで延伸され、開業を迎えます。全国からお越しになられる皆様には福井県が少し身近になったのではないかと思います。11月の福井県は、山の幸海の幸ともおいしい季節です。その実り豊かな季節に、福井県に全国の特別支援教育に関わる皆様が参集し、「変化する社会の中で 自分らしさを生かし 生き生きと輝く子どもたち～教育的ニーズに基づいた 一人一人の育ちを求めて～」を大会主題として、日頃の教育活動の成果や今後の特別支援教育のあり方について議論できることを楽しみにしています。

令和6年3月吉日

全日本特別支援教育研究連盟理事長

名古屋 恒彦

第63回全日本特別支援教育研究連盟全国大会福井大会実行委員長 坪川 修一郎

主催

全日本特別支援教育研究連盟 東海北陸地区特別支援教育研究協議会
福井県特別支援教育研究連盟

後援(予定)

文部科学省 こども家庭庁 全国都道府県教育委員会連合会 全国国公立幼稚園・こども園長会
全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国高等学校長協会 全国特別支援学校長会
全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会 全国特別支援学校知的障害教育校長会
全国特別支援教育推進連盟 公益社団法人日本発達障害連盟 日本発達障害学会
公益財団法人日本知的障害者福祉協会 全国手をつなぐ育成会連合会
福井県教育委員会 福井市教育委員会 永平寺町教育委員会 福井県幼児教育研究会
福井県小学校長会 福井県中学校長会 福井県高等学校長会 福井県特別支援学校長会
福井県特別支援学級・通級指導教室設置学校長会 福井県小学校教育研究会
福井県中学校教育研究会 福井県高等学校教育研究会
特定非営利活動法人福井県手をつなぐ育成会
公益財団法人日本教育公務員弘済会福井支部 公益社団法人福井県観光連盟

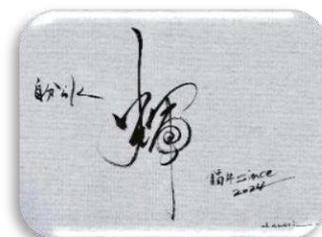
1 大会主題

変化する社会の中で 自分らしさを生かし 生き生きと輝く子どもたち
～教育的ニーズに基づいた 一人一人の育ちを求めて～

2 趣旨

新しい時代の特別支援教育の在り方が示され、インクルーシブ教育システムの構築に向けた取組が進展する中、日々、目の前にいる子どもたちの幸せと自立を願って特別支援教育を推進してきた。一方、昨今の子どもたちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、増加する児童生徒の多様なニーズに応じた教育、早期からの相談・切れ目のない支援の充実、合理的配慮の提供、ICT 機器の活用、教師の専門性の向上など、共生社会の実現に向けた特別支援教育に求められる課題は尽きない。

そこで、本大会では、大会主題を「変化する社会の中で 自分らしさを生かし 生き生きと輝く子どもたち～教育的ニーズに基づいた 一人一人の育ちを求めて～」とし、特別支援教育の在り方について全国各地の皆様と研究協議を深め、子どもたち一人一人が自分らしい人生を歩んでいくための特別支援教育の更なる発展・充実を目指している。



3 大会期日

令和6年11月21日(木)・22日(金)

4 会 場

1日目 全体会・理事・評議員研究協議会 フェニックスプラザ
910-0018 福井市田原1丁目13-6 TEL 0776-20-5060

2日目 学校見学会

分科会 (フェニックスプラザ AOSSA ハピリン 織協ビル)

5 参加者

全日本特別支援教育研究連盟構成団体会員

幼稚園・保育所(園)・こども園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学等の職員
特別支援教育研究者、関係団体の方、保護者、特別支援教育に関心のある方

6 日 程(予定)

| | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 16:00 | |
|---------------------|---------|------------|-------------|----------|--------------|-------|-------|-----------------|
| 第1日 11/21 (木) | 受付 | 開会式 表彰式 | 研究報告 | 昼食 | 行政説明 基調報告 | 記念講演 | 閉会式 | 理事・評議員 研究協議会 |
| 第2日 11/22 (金) | 9:00 受付 | 9:30 | 12:00 学校見学会 | 13:00 昼食 | 16:00 分科会 | | | |

7 記念講演 演題：「一人一人が自分を表現できる未来へ」
講師：書家／プレゼンテーションクリエイター 前田 鎌利 氏

8 研究報告 福井県の特別支援教育の現状と課題
三木安正記念研究奨励賞受賞者：(未定)

9 分科会

| No | 分科会名 | テーマ | 討議の柱 | 提案者 |
|----|------------------------|----------------------------|---|-------------|
| 1 | つながりのある特別支援教育(幼保小中高連携) | 就学前からつながりのある相談支援の充実 | ○園・小・中学校・高等学校との連携の在り方 ○園児・児童・生徒と保護者に寄り添った支援体制の在り方 | 愛知県 福井県 |
| 2 | 特別支援教育コーディネーターの役割 | 生き生きと輝く子どもたちを育むコーディネーターの役割 | ○地域・校内でのつながりを生かした支援体制の在り方 ○支援をつなげるための手立てや方法 | 三重県 福井県 |
| 3 | 交流及び共同学習 | 共生社会に生きる力を育む交流および共同学習 | ○豊かな関わりを育み、双方に学びのある交流及び共同学習の在り方 ○ねらいを明確にし、組織的に行う交流及び共同学習の在り方 | 青森県 福井県 |
| 4 | 障がい者スポーツ・文化芸術活動 | スポーツ等を通して、子どもたちの生活が豊かになる取組 | ○スポーツや文化芸術活動を通じた人との関わりやつながり ○スポーツや文化芸術活動を楽しむ機会の創出 | 香川県 福井県 |
| 5 | 通級による指導 | 一人一人のニーズに応じた効果的な指導と連携体制 | ○学校・家庭・関係機関等との連携の在り方 ○一人一人の実態とニーズに応じた効果的な指導 | 岐阜県 福井県 |
| 6 | 通常の学級における合理的配慮 | 障がいや特性に応じた合理的配慮 | ○合理的な配慮を校内へ広げるための方法と課題 ○学習面・生活面における個々のより良い合理的配慮の追究 | 佐賀県 福井県 |
| 7 | 高等学校における特別支援教育(高等学校) | 高等学校における特別支援教育の展開 | ○高等学校における通級による指導 ○自立を見据えた指導・支援 | 埼玉県 福井県 |
| 8 | 教科別の指導①(小学校、小学部段階) | 教科の良さや学ぶ楽しさを実感できる授業づくり | ○語彙を増やし、表現を豊かにする効果的な指導の在り方 ○身についた力を子ども自身が実感できる場の設定の工夫 | 富山県 福井県 |
| 9 | 教科別の指導②(中学校、中・高等部段階) | 教科の良さや学ぶ楽しさを実感できる授業づくり | ○教科学習において、自分らしく表現するための工夫 ○表現力を高めるための学習活動の在り方 | 京都市 福井県 |
| 10 | キャリア教育 | 自立と社会参加に向けたキャリア教育 | ○自己をみつめる振り返り活動について ○児童生徒の実態に応じたキャリア教育 | 浜松市 福井県 |
| 11 | 自立活動 | 一人一人に応じた自立活動の充実 | ○子どもの「やってみよう」を引き出す指導の在り方 ○一人一人に応じた自立活動の計画 | 名古屋市 福井県 |

| | | | | |
|----|------------------------------|--------------------------------------|---|------------|
| 12 | 各教科等を合わせた指導①(作業学習) | 自立と社会参加を目指す作業学習 | ○主体性「やりたい」「分かる」「できる」を引き出すための工夫 ○自立と社会参加につながる作業学習の取組 | 石川県 福井県 |
| 13 | 各教科等を合わせた指導②(日常生活の指導・生活単元学習) | 子どもたち一人一人が力を発揮し生き生きと輝く日常生活の指導・生活単元学習 | ○小から中へのつながりを意識した生活単元学習の在り方 ○児童・生徒の自立と社会参加を促す(目指した)指導の在り方 | 静岡県 福井県 |
| 14 | 不登校傾向のある児童・生徒への支援 | 不登校傾向のある児童・生徒の理解と支援 | ○自己実現に向けて、安心感がもてるような環境の工夫 ○不登校傾向のある児童・生徒との関係づくりの工夫 | 山梨県 福井県 |
| 15 | 知的障がい教育におけるカリキュラム・マネジメント | 一人一人の学びが深まるカリキュラム・マネジメント | ○一人一人の学びを深めるために、どう子どもの実態を捉え、何を大切に、どのように学びをつなげていくか。 ○どのように子どものカリキュラム・マネジメントを進めていくか。(教師の協働と情報共有の在り方) | 奈良県 福井県 |

10 諸経費(予定)

大会参加費 4,500円

大会集録費 2,000円

11 ホームページ

第一次案内を全日本特別支援教育研究連盟のホームページにも掲載しています。ご覧ください。

http://zentokurenhp.world.coocan.jp/zen_taikai/63nd_fukui_lji.pdf

12 その他

大会参加の申込方法は、第二次案内にてお知らせいたします。

13 問合わせ先

大会事務局

〒918-8055

福井県福井市若杉4-143

福井市社北小学校

TEL:0776-35-2821

FAX:0776-35-2719

Email:y-oku464@fukui-city.ed.jp

実行委員長 福井県福井市清明小学校 校長 坪川 修一郎

事務局長 福井県福井市社北小学校 教諭 奥谷 裕美

連絡事項① 全特連功労者推薦について

1. 推薦の流れ

- (1) 各地区や特別支援学校で候補となる人物を推薦。**(沖特研事務局へ、随時受付)**
- (2) 推薦された人物について掌握し、会長・副会長・会長補佐・監事で協議して1名に絞る。
- (3) 推薦のあった地区・学校の代表者が推薦書を作成し、事務局が全特連へ6月上旬に報告する。

2. 推薦の条件(全特連「表彰に関する内規」より)

各都道府県(特別市)単位団体から推薦する候補者については、**次の二つの要件を満たす者**とする。

- (1) 特別支援教育関係の学校・学級・施設・団体・官公署等に10年以上勤務し、この教育の発展に多大の貢献をした者。
- (2) 本連盟ならびに単位団体の役員・事務局員等を5年以上つとめ、本連盟ならびに単位団体の活動の促進、組織の強化等に貢献した者。

※なお、功労者表彰推薦の時期に故人となられた方を推薦したい場合は、事前に本部事務局とご協議ください。

3. これまでの本会の推薦状況

| 年度 | 氏名 | 役職 | 年度 | 氏名 | 役職 |
|------|--------|------------------|------|--------|----------------|
| 平成14 | 田仲 康丈 | 県立名護養護学校校長 | 平成26 | 玉城 惇 | 県立鏡が丘特別支援学校校長 |
| 平成15 | 松島 朝重 | 県立鏡が丘養護学校校長 | 平成27 | 初鹿野 修 | 那覇市立金城小学校校長 |
| 平成16 | 金城 哲夫 | 玉城村立玉城中学校教諭 | 平成28 | 名嘉 ゆり子 | 沖特研 那覇支部支部長 |
| 平成17 | 真玉橋 初子 | 南城市立大里北小学校校長 | 平成29 | 玻名城 安教 | 県立八重山特別支援学校校長 |
| 平成18 | 池保 節子 | 具志川市教育委員会特殊教育指導員 | 平成30 | 新崎 每子 | 県立美咲特別支援学校校長 |
| 平成19 | 國場 厚子 | 県立西崎特別支援学校校長 | 令和元 | 該当者なし | |
| 平成20 | 該当者なし | | 令和2 | 該当者なし | |
| 平成21 | 該当者なし | | 令和3 | 該当者なし | |
| 平成22 | 仲間 博史 | 県立島尻養護学校校長 | 令和4 | 當間 保 | 南風原町立南風原中学校校長 |
| 平成23 | 津嘉山 信行 | 西原町立西原東中学校校長 | 令和5 | 大城 政之 | 浦添市教育委員会 就学指導員 |
| 平成24 | 新垣 香代子 | うるま市立あげな小学校教頭 | 令和6 | 該当者なし | |
| 平成25 | 棚原 恵子 | うるま市立具志川小学校校長 | 令和7 | | |

連絡事項② 研究大会に向けた今後のスケジュール等

6月14日(金) 第1回評議員会・研修会① (本日)

6月17日(月) 令和6年度総会・記念講演 案内・発送

7月26日(金) 令和6年度 総会・記念講演(研修会②)

沖特研研究大会 一次案内 発送・公開

8月2日(金) 九特連研究大会《佐賀大会》

9月6日(金) 提案者の氏名報告メ切

9月13日(金) 分科会系の氏名報告メ切

※順次、本人および所属長宛てに依頼文を発送

10月11日(金) 第2回評議員会・研修会③

10月18日(金) 提案者の事例報告書メ切

11月8日(金) 研究大会分科会関係者会・研修会④

11月21日(木)・22日(金) 全特連研究大会《福井大会》

12月13日(金) 第52回沖特研研究大会

1月10日(金) 研究大会オンデマンド配信の開始(～3月31日まで)

1月14日(火) 分科会の記録メ切

2月中 大会集録の編集・製本

大会集録の配布・公開

2月21日(金) 第3回評議員会・研修会⑤



令和6年度沖特研総会

および

沖特研 × 沖情研 記念講演



7.26 (金)

〈沖特研会員〉 12:45-16:30

※知的障害学級担当者

〈沖情研会員・その他〉 14:00-16:30

※自閉・情緒障害学級担当者

@那覇みらい支援学校 または Zoomミーティング

※来校を推奨いたします

参加費 無料

演題 児童一人一人の学びの充実に向けて
～特別支援教育の目指す方向性～

講師 加藤 典子 氏

文部科学省 初等中等教育局
特別支援教育課 特別支援教育調査官

【主なご経歴】

- ・鳥取県の公立小学校で教員を14年間務めた後、
- ・平成18年度 鳥取県教育センター教育相談課指導主事
- ・平成22年度 鳥取県教育委員会特別支援教育課で
指導主事や指導担当係長
- ・平成30年度 鳥取市こども発達支援センター（併）
鳥取市教育委員会学校教育課で主査や係長
- ・令和2年度より現職

講師への質問募集！

特別支援教育に携わるうえで、質問
したいことや疑問に思うことがあり
ましたらご回答お願いします！

<https://forms.office.com/r/7fDWSpprpJ>



※ 6月21日（金）
締め切り



概要

◎2030年または2050年を目指す（持続・接続
可能な）、令和の日本型教育における、今後の
特別支援教育・インクルーシブ教育システムの
方向性等について

◎今後の特別支援教育の動向

〈キーワード〉

- ・国連の障害者権利委員会による勧告を受けての
文科省の考え方
- ・知的障害特別支援学級及び
自閉・情緒障害特別支援学級の現状
- ・通常の学級に在籍する障害のある児童生徒
への支援の在り方に関する検討会議報告

申込方法

申込締め切り
7月16(火)

下記URLまたはQRコードよりお申込下さい
<https://forms.gle/SDRDj6WfdwdQ22zs7>



- ※ 申込人数により来校・Zoomともに
制限がある場合があります。
- ※ 駐車場に限りがあります。
- 公共交通機関(主にバス)での来校を
お願いいたします。(📍古蔵中学校前)

- ※ 来校する際は内履きをご持参ください。
- ※ 申込者には後日ご登録いただいたメールアドレス
に資料を送付いたします。

〈問い合わせ〉

令和6年度 事務局
事務局長 諸見里知恵 会計 屋比久妙子
東江紀幸 伊良波愛理 白石桃菜

📍 名護市宇茂佐760番地 ✉ okitokuken@as.open.ed.jp

☎ 0980-52-0505 📠 0980-54-1486

🌐 <http://www.47okitokuken-as.open.ed.jp>



出席確認およびアンケート

以下のQRコードまたはURLからご回答下さい。回答は5分程度で完了します。ご協力をお願いいたします。なおここで集めた情報は、本研究会の運営以外の目的では一切使用いたしません。また頂戴した回答については、後日集約して大会ホームページにて公開いたします。



<https://forms.office.com/r/PHJuDbmDmd>

問い合わせ

令和5・6年度 沖縄県特別支援教育研究会 事務局

事務局長 諸見里 知恵

会計 屋比久 妙子

情報 東江 紀幸

 名護市宇茂佐760 沖縄県立名護特別支援学校内

 okitokuken@as.open.ed.jp

 0980-52-0505

 0980-54-1486

 <http://www.okitokuken-as.open.ed.jp>

